

令和6年度使用

義務教育諸学校（小学校）の教科用図書
（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）
研 究 資 料

令和5年6月

岡山県教育委員会

目次

教	科	種	目	
1	国	語	----- 国	語 ----- 1
2	国	語	----- 書	写 ----- 7
3	社	会	----- 社	会 ----- 13
4	社	会	----- 地	図 ----- 19
5	算	数	----- 算	数 ----- 23
6	理	科	----- 理	科 ----- 31
7	生	活	----- 生	活 ----- 39
8	音	楽	----- 音	楽 ----- 47
9	図	画	工 作 ----- 図	画 工 作 ----- 51
10	家	庭	----- 家	庭 ----- 55
11	体	育	----- 保	健 ----- 59
12	外	国	語 ----- 英	語 ----- 67
13	特 別 の 教 科	道 ----- 道	徳 ----- 75	

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

1

教科 国語

種目 国語

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 あたらしい こくご 一上	1	B 5	1 4 6
		新編 あたらしい こくご 一下		B 5	1 7 4
		新編 新しい 国語 二上	2	B 5	1 6 2
		新編 新しい 国語 二下		B 5	1 7 0
		新編 新しい国語 三上	3	B 5	1 7 0
		新編 新しい国語 三下		B 5	1 7 2
		新編 新しい国語 四上	4	B 5	1 7 0
		新編 新しい国語 四下		B 5	1 6 2
		新編 新しい国語 五	5	B 5	2 9 8
		新編 新しい国語 六	6	B 5	2 9 8
17	教出	ひろがることば しょうがくこくご 一上	1	B 5	1 3 7
		ひろがることば しょうがくこくご 一下		B 5	1 7 7
		ひろがることば 小学国語 二上	2	B 5	1 6 5
		ひろがることば 小学国語 二下		B 5	1 6 9
		ひろがる言葉 小学国語 三上	3	B 5	1 6 5
		ひろがる言葉 小学国語 三下		B 5	1 6 1
		ひろがる言葉 小学国語 四上	4	B 5	1 7 7
		ひろがる言葉 小学国語 四下		B 5	1 7 1
		ひろがる言葉 小学国語 五上	5	B 5	1 6 1
		ひろがる言葉 小学国語 五下		B 5	1 8 5
		ひろがる言葉 小学国語 六上	6	B 5	1 6 1
		ひろがる言葉 小学国語 六下		B 5	1 6 9
38	光村	こくご一上 かざぐるま	1	B 5	1 3 3
		こくご一下 ともだち		B 5	1 4 0
		こくご二上 たんぼぼ	2	B 5	1 6 4
		こくご二下 赤とんぼ		B 5	1 6 8
		国語三上 わかば	3	B 5	1 6 4
		国語三下 あおぞら		B 5	1 6 8
		国語四上 かがやき	4	B 5	1 6 0
		国語四下 はばたき		B 5	1 7 6
		国語五 銀河	5	B 5	2 9 4
		国語六 創造	6	B 5	3 1 2

種目名 (国語)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい国語
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 国語で正確に理解し適切に表現することに向けた基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 国語の知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 単元のはじめに「思い出そう」という二次元コードがあり、既習の「言葉の力」が紹介されている。第1学年では、促音の学習において、一音一文字と促音が記号で示されており、手をたたく動作の絵や動画に関する二次元コードが紹介されている。</p> <p>② 第2学年以上で、読み比べて考えるための教材が取り上げられている。「読むこと」で学んだ情報の扱い方を生かして「書くこと」に取り組めるように「読むこと」と「書くこと」の間に「情報のとびら」が掲載されている。</p> <p>③ 全領域の単元冒頭において、学ぶ内容が「言葉の力」で示され、「見通す」では、どのような学習活動をどういった手順で進めていくのかが示されている。言葉の使い方や漢字の学習では、二次元コードで練習問題ができるようになっている。</p> <p>④ デジタルノートの作り方が巻頭に見開きで示され、二次元コードが設定されている。また、巻末には二次元コードから学習に役立つ資料を紹介した「デジタル資料を活用しよう」が掲載されている。</p> <p>⑤ 第1学年では「だじゃれ」、第2学年では「へんしんことば」「はさみことば」が、第4学年では、「百人一首」のかかるた遊びが示されている。第6学年の「古典芸能への招待状」では能や狂言、歌舞伎についての解説が掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第4学年まで上下巻2分冊であり、第5学年からは合本で構成されている。第2学年下巻まで分かれ書きで記載されている。領域を示すマークが高学年は青、中学年は緑、第2学年は赤でページ横端中央付近に付けられている。巻末に各学年で学習する織り込みページ「言葉の力」が掲載されている。</p>

種目名 (国語)

項目	観 点 の 具 体	17 教出 ひろがる言葉 小学国語
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 国語で正確に理解し適切に表現することに向けた基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 国語の知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な言語文化や言葉の由来や変化等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 全学年において、「読むこと」の単元末に「言葉をふやそう」が示され、教材文に関連のある語句や語句を使った作文の課題が示されている。また、巻末に「言葉の木」として、カテゴリごとに語句が例示されている。</p> <p>② 読むことの「学習のてびき」の次ページに「言葉」を位置づけ、読みを深めるために着目する言葉が示されている。キャラクターが学習の仕方や何を考えていくのかを示していたり、登場人物の発言によって学び方を例示したりしている。</p> <p>③ 第3・5学年の「漢字の広場」では「漢字学習ノート」のつくり方が示されている。巻末の「ひろがる言葉」では、各領域の学習で何を学んだか、それが他教科や生活の中のどのようなことに生かせるのかを考える活動が示されている。</p> <p>④ 第3～5学年にタブレット端末を活用して取材をしたり、資料を作成して発表に活かしたりするなど、活動が挿絵とともに例示されている。SDGsに関連のある内容であることが、巻頭の各学年の学習内容一覧に示されている。</p> <p>⑤ 「月」のつく言葉、「鳥」が出てくる言葉等や「雨」に関わる言葉等が紹介されている。第6学年では「坊ちゃん」「杜子春」が紹介され、時代によって変化したり使われなくなったりした言葉を調べ、考えたことを書く活動が示されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>上下巻2分冊構成で、第2学年上巻前半まで分かち書きで掲載されている。巻頭には領域ごとの学習内容を示した箇所の上部に学んだことを生かせる場面が提示されている。領域に応じてページの上部やサイドに「読むこと」は赤色、「書くこと」は青色等で色の帯が引かれている。</p>

38 光村 国語

- ① 「言葉について考えよう」という単元が第2学年以上で設定されており、言葉の使い方における具体的な問題場面が提示されている。第2学年以上の教科書において「季節の言葉(春・夏・秋・冬)」が見開きページで取り上げられている。
- ② 第2学年以上の「読むこと」の最後の単元では、「選んで読み深めよう」を設け、選択して取り組む課題が提示されている。第3学年以上の説明的文章の最初の単元では、次の教材の読みに活かすための練習教材が取り入れられている。
- ③ 主に「話すこと・聞くこと」「書くこと」の単元で、言語活動のポイントとともに、他に大事だと思ったことを尋ねる吹き出しが示されている。第2学年以上で気付きやニュース、新しく知った言葉等を日々記録に残す活動が示されている。
- ④ 図を使った情報の整理の仕方を巻末に示し、この内容と関連付けた学習活動が各単元に設定されている。第2学年以上で国語科の特質に応じた問題発見・解決のプロセスが巻頭に示され、各領域の学習の進め方が本項と関連付けられている。
- ⑤ 第3学年の「俳句を楽しもう」では、五音と七音の組み合わせを探る活動が示されている。第6学年では、「柿山伏」の一場面を音読したり、ふりを付け演じたりする活動が示されている。第5学年で、国際協力に関する本が紹介されている。

第4学年までは上下巻2分冊構成で、第2学年上巻前半までは分かち書きで記載されている。目次を第1学年下巻は4ページ、第2学年と中学年は3ページ、高学年は6ページで示されている。全学年巻頭に、学習のポイントを示す印や、高学年は、学習ページのつくりについて示されている。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

2

教科 国語

種目 書写

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 あたらしい しょしゃ 一	1	B5変型	52
		新編 新しい しょしゃ 二	2	B5変型	48
		新編 新しい 書写 三	3	B5変型	58
		新編 新しい 書写 四	4	B5変型	54
		新編 新しい 書写 五	5	B5変型	54
		新編 新しい 書写 六	6	B5変型	54
17	教出	しょうがく しょしゃ 一ねん	1	B5	52
		小学 しょしゃ 二年	2	B5	44
		小学 書写 三年	3	B5	62
		小学 書写 四年	4	B5	62
		小学 書写 五年	5	B5	54
		小学 書写 六年	6	B5	54
38	光村	しょしゃ 一ねん	1	B5変型	52
		しょしゃ 二年	2	B5変型	44
		書写 三年	3	B5変型	66
		書写 四年	4	B5変型	54
		書写 五年	5	B5変型	50
		書写 六年	6	B5変型	58

種目名 (書写)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい 書写
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 姿勢・筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 表現する力を育む言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な言語文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 第1・2学年では、姿勢を意識するための「しょしゃたいそう」が掲載されている。また、左利き用の鉛筆の持ち方や紙の押さえ方の写真が実物大で示されている。第4～6学年の巻頭には、毛筆での点画の名前と書き方が示されている。</p> <p>② 学習のポイントが「書写のかぎ」として示され、書字の技能を身に付けることができるように構成されている。全学年の巻末には自分で選んで活用できるように、これまで学習した「書写のかぎ」が一覧で示されている。</p> <p>③ その時間のめあてについて話し合う場が多く設定されている。第2学年以上の裏表紙には、文字等にどのような思いが込められているかが「文字といっしょに」として示されている。資料動画のある単元には、全学年二次元コードが示されている。</p> <p>④ 各学年で、記録の仕方やノートの書き方が示されている。第6学年では書く速さや配列を意識した書き方(二次元コード)が取り上げられている。第2～6学年までの表紙裏の頁が「おかしな～」というシリーズで、書写に関する問題発見・解決能力を育成する内容になっている。</p> <p>⑤ 第1学年で漢字の由来、第2学年で「いろは歌」、第3学年で「俳句」、第4学年で「俳句」と「百人一首」、第5学年で「俳句」「竹取物語」「おくのほそ道」「枕草子」、第6学年で「漢詩」「論語」「日本の文字の歴史」が取り上げられている。また、第3学年以降で「ローマ字表」、第5学年で「世界の文字いろいろ」、第6学年で「外国を紹介するためのポスターの書き方」が示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第1・2学年は3～4単元、第3～6学年は8～9単元で構成されている。第3～6学年の書き初めのページでは、教材を実物の大きさを示すことができるよう、B5を横に広げる変型判で構成されている。第3～6学年の表紙裏には、内容を系統的に示すインデックスが掲載されている。第1・2学年には、水書用紙が付属されている。</p>

種目名 (書写)

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学 書写
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 姿勢・筆記具の持ち方、点画や一文字の書き方、筆順等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 表現する力を育む言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な言語文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 第1・2学年で「よいしせいのおいことば」「えんぴつのもちかたのおいことば」が示されている。第1・2学年で鉛筆の運動等の練習のために水書用紙を使ったり体を動かしたりする「しょしゃの体そう」が示されている。</p> <p>② 第1学年では、形が似ている平仮名と片仮名が取り上げられている。第2・4学年では、話し合うときなど書写で使う言葉が一覧に示されている。第5学年の巻頭には、運筆を撮影し合って書き方を確かめる方法が紹介されている。</p> <p>③ 第5・6学年の巻頭では、自分のめあてに合わせた練習をするために、練習用紙の作り方が掲載されている。動画・ワークシート・資料のある単元には、全学年二次元コードが示されている。第6学年では、中学校で学ぶ行書について紹介されている。</p> <p>④ 「レッツ・トライ」というテーマで、学習した書き方を各教科や普段の生活で生かして表現する力を伸ばす内容が取り上げられている。第5学年では目的に合った書く速さや読み手を意識した書き方、第6学年では、読みやすさを考えたリーフレットの書き方等が取り上げられている。</p> <p>⑤ 第3学年で「俳句」「漢字の成り立ち」、第4学年で「短歌」「かるた」、第5学年で「竹取物語」「平仮名のもとになる漢字」、第6学年で「俳句」「枕草子」「日本のもじの由来や歴史」が取り上げられている。また、第3学年で「ローマ字表」、第5学年で「世界のこんにちは」、第6学年で「世界の書く」というテーマで海外の授業の様子や教科書が取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第1・2学年は3～4単元、第3～5学年は8～9単元、第6学年は6単元で構成されている。全学年で裏表紙に「えん筆の持ち方」が掲載されている。第1・2学年の巻末に水書用紙が付属されている。第2～6学年の目次には、その学年で学習することが一覧で示されている。</p>

種目名 (書写)

38 光村 書写

- ① 第1学年の巻頭には、いい姿勢を維持し集中して書くための身体を整える「しょしゃたいそう」が示されている。「じをかくしせい」に加えて「たぶれつとをつかうしせい」も示されている。「えんぴつのもちかた」が実物大の写真と言葉で示されている。
- ② 第4学年では、偏や冠の部分と元の文字とを重ねて表記し、幅や高さがどのように変化しているかが示されている。第6学年では、これまで学習した「たいせつ」をまとめ活用するための「書写ブック」が示されている。
- ③ 第6学年巻末には、著名人が書いた自分の名前の文字が、児童へのメッセージとともに紹介されている。また、自分の文字を振り返り、よいところを書きこむ欄が設けられている。写真・動画のある單元には、全学年二次元コードが示されている。
- ④ 第5学年では、書く時の速さや文字の大きさ、配列を意識した新聞の書き方、第6学年では、情報をわかりやすく伝えるための工夫が取り上げられている。また、第2・3学年に「なぞとき」というテーマで「整った文字を書くための決まりを見つけよう」という問題発見・解決する活動が取り上げられている。
- ⑤ 第1学年で「漢字の由来」、第3学年で「ことわざ」、第4学年で「俳句」「百人一首」、第5学年で「竹取物語」「枕草子」、第6学年で「俳句」と「文字の歴史」が取り上げられている。また、第3学年以降では「ローマ字表」が掲載されている。第5学年の「町の中から世界の文字を探そう」では、英語で名刺を作る活動が取り上げられている。

全学年とも4～6単元で構成されており、第1・2学年の巻末には水書用紙、第4学年には「SDGsブック」、第6学年には「書写ブック」が付属されている。裏表紙には第1学年は50音図、第2学年は鉛筆の正しい持ち方、第3～6学年は「SDGs×書写」が掲載されている。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

3

教科 社会

種目 社会

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 新しい社会 3	3	AB	142
		新編 新しい社会 4	4	AB	170
		新編 新しい社会 5上	5	AB	126
		新編 新しい社会 5下		AB	134
		新編 新しい社会 6 政治・国際編	6	AB	114
		新編 新しい社会 6 歴史編		AB	166
17	教出	小学社会 3	3	AB	179
		小学社会 4	4	AB	225
		小学社会 5	5	AB	265
		小学社会 6	6	AB	307
116	日文	小学社会 3年	3	AB	174
		小学社会 4年	4	AB	220
		小学社会 5年	5	AB	296
		小学社会 6年	6	AB	296

種目名 (社会)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい社会
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 社会的事象に関する知識、概念や技能等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 社会的事象の意味を解釈したり事象の特色を説明したりする等、知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く社会的な見方や考え方を養うために、言語活動の内容や情報活用能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 見通しをもって学習が進められるよう、全学年巻頭や各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習の進め方が示されている。その時間のキーワードとして「ことば」が示されている。知識や概念の獲得につながるインタビュー等にアクセスできるよう「デジタルコンテンツ」が設定されている。</p> <p>② 学習内容を整理できるよう、「まとめる」のページが設定されている。まとめる活動に生かせる「学習問題をかくにんしよう」「ことばを生かそう」「まなびのポイント」が示されている。まとめ方として、「地図」「年表」「新聞」「キャッチフレーズ」等の方法で学習内容をまとめる活動が取り上げられている。</p> <p>③ 発展的な学習活動として、「ひろげる」のページが設けられている。第5学年では、工業が発展する一方で起きた災害について調べる活動等が取り上げられている。主体的に取り組めるよう「学習のはじめにみてみよう」等が掲載されている。</p> <p>④ 社会的な見方・考え方を働かせる場面がドラえもののマークで示されている。実生活の場面への活用のために「いかす」のページが設けられている。第4学年では、ごみを減らすために自分たちができることを話し合う活動、第5学年では、プレゼンテーションソフトを使ったまとめ方やオンラインでのインタビューの仕方が示されている。</p> <p>⑤ 領土問題については、第5・6学年で、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、「日本固有の領土」を他国が「不法に占領」「領有を主張」していると記されている。国旗・国歌については、第6学年で明治時代から使われ、慣れ親しまれてきた日の丸と君が代について記され、法律で定められていることが説明されている。日本とつながりの深い国として、アメリカ、フランス、中国、ブラジルが取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのような特徴があるか。</p>	<p>「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習の進め方で構成されている。第6学年では、「子育て支援の願いを実現する政治」と「震災復興の願いを実現する政治」等、選択して学習できる教材が配列されている。また、発展的な学習として、「ひろげる」が配列されている。第5・6学年の教科書が、それぞれ二巻に分けられている。</p>

種目名 (社会)

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学社会
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 社会的事象に関する知識、概念や技能等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 社会的事象の意味を解釈したり事象の特色を説明したりする等、知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 様々な学習場面や社会生活に生きて働く社会的な見方や考え方を養うために、言語活動の内容や情報活用能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 見通しをもって学習が進められるよう、全学年巻頭や各ページに「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」の学習活動が示されている。学習課題の解決につながる「キーワード」が示されている。学習内容の定着につながる動画等にアクセスできるよう「学びリンク」が設定されている。</p> <p>② 学習内容を整理できるよう、「まとめる」のページがあり、単元の学習問題として「みんなで作った学習問題」が示されている。まとめる活動に生かせる「キーワードをふり返ろう」「学びのてびき」が記されている。まとめ方として、「表」「年表」「関係図」「カード」等の方法で学習内容をまとめる活動が取り上げられている。</p> <p>③ 発展的な学習活動として、「もっと知りたい」のページが設けられている。第3学年では、町の昔と今を比べる活動等が設定されている。補充・発展的な学習につながるように読み物やクイズ等が掲載されている。</p> <p>④ 各学年の学習内容に応じた社会科で使う見方・考え方を示すページが設けられている。実生活への活用に向け、「つなげる」のページが設けられている。第4学年では、水を大切に使うために自分や地域にできることを話し合う活動等が設定されている。「タブレット型コンピューターを生かそう」のページが設けられている。</p> <p>⑤ 領土問題については、第5・6学年で「日本の領土」を「不法に占領」「自国の領土であると主張」と記され、第5学年では、竹島と尖閣諸島について学習資料が掲載されている。国旗・国歌については、第6学年で日の丸と君が代について取り上げられている。その成り立ちについて記され、法律で定められたことが説明されている。日本とつながりの深い国として、アメリカ、中国、ブラジル、サウジアラビアが取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜についてどのような特徴があるか。</p>	<p>「つかむ」「調べる」「まとめる」「つなげる」という学習の進め方で構成されている。第4学年では、「地域に学校をひらく」「地域の人々を病気から救う」等、選択して学習できる教材が配列されている。第3学年では、「わくわく社会科ガイド」として、インタビューの仕方やインターネットの調べ方等が示されている。</p>

116 日文 小学社会

- ① 見通しをもって学習が進められるよう、全学年問題発見・追及・解決の学習の進め方が示されている。大切な言葉に注目できる「キーワード」で取り上げられている。学習内容の定着につながるホームページへアクセスできるよう「教科書デジタルコンテンツ」が設定されている。
- ② 学習の振り返りやまとめとして、「表現する」が設定されている。まとめる活動に生かせる「学び方・調べ方コーナー」が紹介されており、二次元コードには、まとめ方の雛型が示されている。まとめ方として、「地図」「関係図」「カード」「ワークシート」等の方法で学習内容をまとめる活動が取り上げられている。
- ③ 発展的な学習活動として、「やってみよう」のコーナーが設けられている。第6学年では、調べた国と日本とを比べ、話し合う活動が設定されている。補充・発展的な学習につながるように思考ツールやゲーム等が掲載されている。
- ④ 社会的な見方や考え方を養うために、「さらに考えたい問題」が設けられている。見方・考え方の空間・時間・関係の三つの視点がマークで示されている。グループ内で発表し合い、自分の考えを見直す「深め合い」の活動が設定されている。情報の集め方や活用方法について「見る・調べる」が設定されている。
- ⑤ 領土問題については、第5・6学年で、北方領土、竹島、尖閣諸島を取り上げ、「日本固有の領土」を他国が「不法に占拠」「自国の領土であると主張」していると記されている。国旗・国歌については、第6学年で、日の丸・君が代が日本の国旗・国歌として慣れ親しまれてきた経緯と法律で定められたことが記されている。日本とつながりの深い国として、アメリカ、中国、ブラジル、韓国が取り上げられている。

「問題を発見する力を身につけよう」「問題を追究・解決する力を身につけよう」「問題をほりさげ、よりよい未来をつくる力を身につけよう」という学習の進め方で構成されている。全学年で「SDGsの目標シール」が使用できる「未来につなげる」のページが設けられている。第5学年では「水産業のさかんな地域」と「畜産業のさかんな宮崎県」等、選択して学習できる教材が配列されている。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

4

教科 社会

種目 地図

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 新しい地図帳	3～6	A 4	1 0 2
46	帝国	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年	3～6	A 4	1 3 2

種目名 (地図)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい地図帳
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 地図の活用に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着のために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 情報活用能力や問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① P7～14 では、地図の基本的な考え方、方位、地図記号、凡例、縮尺のしくみなどが取り上げられており、日本地図、世界地図の全ページにおいて、縮尺がものさしのイラストで示されている。P53・54 では、地球儀の特徴や使い方が紹介されており、P86 では、「世界の州とおもな海洋の広さ」というテーマで南を上にした世界地図が紹介されている。</p> <p>② 「ホップ ステップ マップでジャンプ」というコーナーが設けられており、レベルごとに産業や自然など様々な視点から学習を深める、70 個の学習課題が掲載されている。キャラクターの吹き出しによって地図の注目ポイントや学習課題などが示されている。</p> <p>③ P45～47 では、東京都の高層ビル群の写真が説明とともに掲載されている。P73・74 では、日本の高速道路や鉄道、空港などの地図とともに、日本の主な都市人口がわかる地図が掲載されている。また、P97～99 の「日本の自然災害」では、これまで被害をもたらした自然災害の種類と場所が日本地図上に示され、ハザードマップの読み方と学習課題が取り上げられている。</p> <p>④ 学びを広げる様々なデジタルコンテンツが活用できるよう、二次元コードが示されている。P40 の「自動車工場と関連工場の分布」やP45 の「東京の 23 区」など各地域の現状や課題、特徴を示す拡大地図が掲載されている。</p> <p>⑤ P15・16 の「日本とそのまわり」では、北端、西端、東端、南端の島々について写真と説明が掲載されている。P19 には尖閣諸島、P25 には竹島の写真と説明が掲載されている。P77～P80 では、日本の歴史年表とともに当時の世界情勢などが掲載され、P81・82 では日本の祭りや食文化が掲載されている。P60・62 では世界の様々な動物や料理が、イラストや写真で紹介されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、挿絵や写真、文字表記やレイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>目次には各項目に対応したイラストが付けられ、見開き左ページのインデックスは色分けされている。巻末の索引は、赤色と黒色の 2 色で示され、チェック欄が設けられている。判型はA判となっている。</p>

種目名 (地図)

項目	観 点 の 具 体	46 帝国 楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 地図の活用に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着のために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 情報活用能力や問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国の国土と歴史、郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① P7～20では、「トライ」のコーナーで方位や地図記号などの地図の基本的な考え方について学習課題が示されるとともに、凡例や縮尺のしくみが取り上げられている。P21～30には「ものさし」という枠で縮尺と実際の距離の求め方が示されている。P81・82では、地球儀の特徴や使い方が「さまざまな視点で見る地球」などの観点とともに紹介されている。</p> <p>② 地方別地図や日本と世界の統計などのページに設けられている「地図マスターへの道」というコーナーでは、レベルごとに地形や経済など100個の学習課題が掲載されている。各ページには、キャラクターの吹き出しによって補足の説明や地図を活用する際のポイント、学習課題が示されている</p> <p>③ P69・70では、現在と江戸時代の東京の地形の相違がわかる地図が掲載されている。P105～108では、日本の発電や食品ロスの現状などのグラフや地図が掲載されている。P125・126では、SDGsの視点から世界の諸課題が取り上げられている。また、P99～102の「日本の自然災害と防災」では、地形と自然災害との関係がイラストで示され、防災マップづくりの手順が紹介されている。</p> <p>④ 外国語の地図や様々な歴史地図等のデジタルコンテンツを活用できるよう、二次元コードが示されている。P38の「国際化が進む福岡市」やP60の「洪水への備え-濃尾平野の輪中-」など、各地域の現状や課題がわかる拡大地図が掲載されている。</p> <p>⑤ P31・32の「日本の領土とそのまわり」では、西端、南端、東端、北端の島々及び北方領土、竹島、尖閣諸島の写真と説明が掲載されている。P109・110では、日本の歴史年表や旧国名とともに、明治時代からの日本の領土の移り変わりが掲載されている。P83～94では、世界の特徴的な生き物や食べ物などのイラストが地図上に示され、世界各国の子どもたちの写真と説明が掲載されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、挿絵や写真、文字表記やレイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>見開き右ページには目次の項目に対応した色でインデックスが付けられている。巻末の索引は、赤色、青色、緑色、黒色の4色で示されている。判型はA判となっている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

5

教科 算数

種目 算数

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 あたらしい さんすう 1① はじめよう!さんすう	1	A 4	4 2
		新編 あたらしい さんすう 1② みつけよう!さんすう		B 5	1 3 2
		新編 新しい算数 2上 考えるって おもしろい!	2	B 5	1 3 4
		新編 新しい算数 2下 考えるって おもしろい!		B 5	1 1 8
		新編 新しい算数 3上 考えたことが つながるね!	3	B 5	1 5 2
		新編 新しい算数 3下 考えたことが つながるね!		B 5	1 2 8
		新編 新しい算数 4上 考えたことが つながるね!	4	B 5	1 5 6
		新編 新しい算数 4下 考えたことが つながるね!		B 5	1 5 2
		新編 新しい算数 5上 考えたことが つながるね!	5	B 5	1 5 0
		新編 新しい算数 5下 考えたことが つながるね!		B 5	1 4 6
		新編 新しい算数 6 数学へジャンプ!	6	B 5	2 7 0
4	大日本	新版 たのしいさんすう 1ねん①	1	A 4	4 1
		新版 たのしいさんすう 1ねん②	1	B 5	1 4 1
		新版 たのしい算数 2年	2	B 5	2 5 1
		新版 たのしい算数 3年	3	B 5	2 7 1
		新版 たのしい算数 4年	4	B 5	2 9 5
		新版 たのしい算数 5年	5	B 5	2 9 3
		新版 たのしい算数 6年	6	B 5	2 7 3
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん 上	1	AB	1 0 4
		みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん 下		AB	1 1 0
		みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上	2	AB	1 7 0
		みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下		AB	1 4 6
		みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上	3	AB	1 5 4
		みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下		AB	1 7 6
		みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上	4	AB	1 6 4
		みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下		AB	1 8 6
		みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上	5	AB	1 8 0
		みんなと学ぶ 小学校 算数 5年下		AB	1 8 4
		みんなと学ぶ 小学校 算数 6年	6	AB	2 6 4
		みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋		AB	5 2

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
17	教出	しょうがくさんすう 1	1	B 5	1 9 0
		小学算数 2 上	2	B 5	1 5 6
		小学算数 2 下		B 5	1 3 0
		小学算数 3 上	3	B 5	1 6 2
		小学算数 3 下		B 5	1 4 8
		小学算数 4 上	4	B 5	1 8 0
		小学算数 4 下		B 5	1 7 8
		小学算数 5	5	B 5	3 1 4
小学算数 6	6	B 5	2 9 2		
61	啓林館	わくわく さんすう 1 すたあと ぶっく	1	A 4	5 0
		わくわく さんすう 1		B 5	1 4 6
		わくわく 算数 2 上	2	B 5	1 3 8
		わくわく 算数 2 下		B 5	1 3 8
		わくわく 算数 3 上	3	B 5	1 5 0
		わくわく 算数 3 下		B 5	1 3 2
		わくわく 算数 4 上	4	B 5	1 6 4
		わくわく 算数 4 下		B 5	1 3 4
		わくわく 算数 5	5	B 5	2 8 4
		わくわく 算数 6	6	B 5	2 7 4
116	日文	しょうがく さんすう 1 ①	1	B 5	4 8
		しょうがく さんすう 1 ②		B 5	1 5 0
		小学算数 2 上	2	B 5	1 6 6
		小学算数 2 下		B 5	1 4 2
		小学算数 3 上	3	B 5	1 7 4
		小学算数 3 下		B 5	1 5 0
		小学算数 4 上	4	B 5	1 7 2
		小学算数 4 下		B 5	1 7 4
小学算数 5	5	B 5	3 3 0		
小学算数 6	6	B 5	3 0 0		

種目名 (算数)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい算数
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 算数の知識及び技能が様々な場面で生きて働くように、見通しをもち、筋道を立てて考え判断し、表現する力を育成するために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 算数の特性を生かし、現代的な諸課題に対応して求められる能力を身に付けさせるために、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 各時間の展開場面や単元の終末に、二次元コードを活用し、自己採点可能で反復練習できる問題が設けられている。毎日の学習で使うページには、はてなマークで示された学習のめあてがあり、また、学習での学びが「まとめ」として記述されている。単元間には、復習単元の復習問題が設けられている。</p> <p>② 第2学年以上の「今日の深い学び」では、複数の解決方法、表現方法が取り上げられており、考えを比較したり検討したり、説明し伝え合ったりする活動が具体的に示されている。教科書に登場する友達の考えを基に、話し合ったり説明したりする学習活動が設定されている。</p> <p>③ 第2学年以上の巻末には、補充的・発展的な問題が設けられている。「算数で読みとこう」「考える力をのばそう！」では、学習したことを生かし日常生活に関わる問題が取り上げられている。他教科や中学数学と関連がある箇所にはマークが示されている。</p> <p>④ 第2学年以上の「学びのとびら」では、問題解決の過程や大切なことが紹介されている。第3学年以上では、SDGsの観点から課題を提示して、表やグラフから課題解決する教材が設定されている。第4学年以上の巻頭の「私と算数」では、著名人と算数の関わりについて紹介されている。</p> <p>⑤ 日本と外国の都市の気温を比べてグラフに表す活動が設定されていたり、円周率を求めた外国の数学者が紹介されたりしている。世界の筆算や外国でのおつりの求め方、3種類の和算の問題が紹介されている。第5学年の表紙には、折り紙で作られた作品が掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>目標や児童の発達段階に照らした各単元の構成・配列及び分量や、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第1学年には、入門期用として「はじめようさんすう」があり、A4判の中綴じの書き込みができるものになっている。第6学年の巻末には、「卒業旅行」として算数のいろいろな世界に触れることができるコースが4つ設定されている。ページ番号は、他の数字と区別できる白抜きで、教科書上部に配置されている。</p>

種目名 (算数)

4 大日本 新版 たのしい算数	11 学図 みんなと学ぶ 小学校 算数
<p>① 学習で得た考え方を記録できる「ひらめきアイテム」が設けられている。単元の終末には、「たしかめ問題」や「学んだことを生かそう」が設けられている。単元で学習する大切な語句などは太文字になっている。1 単位時間の中でも、単元の中でも練習問題が多めに設けられている。</p> <p>② 単元の中に「じっくり深く学び合おう！」のページが設けられ、友達の考えを説明する問題が取り上げられている。問題に対する多様な考え方を掲載するとともに、それを基に考えたり話し合ったりする場面や板書例がイラストや写真で示されている。</p> <p>③ 巻末には「プラスワン」として補充問題が設けられている。第3 学年以上に「なるほど算数教室」が設けられており、生活や社会と算数を関連付けた問題やお仕事インタビューなどが取り上げられている。第5・6 学年の巻末には中学校数学で学習する内容が紹介されている。</p> <p>④ 全学年でプログラミングにふれる活動が設けられており、第2 学年以上は、アンプラグドプログラミングとビジュアルプログラミングの2 つが取り上げられている。巻頭の「算数の学び方」には、学習の流れや聞き方、話し方、話し合い方の例が紹介されている。</p> <p>⑤ 英語の数の読み方、他国の数学者や和算家が紹介されている。キャラクターやイラスト、写真等で外国にルーツをもつ人々が掲載されている。また、我が国の伝統的な遊びを取り上げて、グラフにする活動が設定されている。また、比の学習で日本の歴史的建造物や大和比等が紹介されている。</p>	<p>① 単元の終末の「できるようになったこと」「まなびをいかそう」では、学習内容の確認ができるような練習問題が設けられている。また、第2 学年以上の単元末には、学習を振り返ることができる「考え方モンスターでふりかえろう」が設けられている。</p> <p>② 問題解決したり、説明したりする際、活用できる算数の考え方の例として、対応する箇所に活用できる考え方が示されている。教科書に登場する友達の考えを参考に、自分の考えをもったり、例示された考えを比べたり説明したり選択したりする場面が設定されている。</p> <p>③ 全学年の巻末には、補充問題と発展問題に取り組める「もっと算数」が設けられている。単元の終末の「ふりかえろう・つなげよう」では、発展的な問題が設けられている。第6 学年には別冊がついており、第6 学年の復習問題と中学校数学への入門問題、発展問題が掲載されている。</p> <p>④ 全学年にSDG s の観点とともに、現代社会が抱えている問題を課題にしている「算数をつかって」が位置付けられている。単元の冒頭には、「?」を発見が設けられていて、課題意識が与えられる場面が設定されている。毎時間のめあてやまとめが「?」と「!」のマークで示されている。</p> <p>⑤ 日本と外国の建物の高さを比べたり、世界の国々の人口をかいいて読んだり、外国の都市の気温をグラフに表したりする学習が設定されている。また、対称の学習では、折り紙や都道府県マークなど身の回りにあるものや世界遺産を紹介しながら問題が提示されている。</p>
<p>目次に記載されている学習内容や番号は、内容ごとに形と色で区別されており、見開きページの右上に色分けされた単元名が記載されている。第1 学年は、入学初期に対応したA 4 判の書き込める形の分冊がある。第5 学年から中学校数学へつなぐ解説のページが設けられている。第2 学年以上の巻頭に「算数の大切な考え方」が掲載されている。</p>	<p>目次、見開きページの右上に記載されている単元名は、学期ごとに同じ色になっており3 色になっている。算数の学びに重要な見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化して示している。各ページの左端には学習内容や小タイトル、思考の流れが記載されている。教科書は、A B 判で、横幅が広い形になっている。</p>

種目名 (算数)

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学算数
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 算数の知識及び技能が様々な場面で生きて働くように、見通しをもち、筋道を立てて考え判断し、表現する力を育成するために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習を促すために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 算数の特性を生かし、現代的な諸課題に対応して求められる能力を身に付けさせるために、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 単元の終末には、学習内容を確かめ振り返ることができる4コマ漫画が掲載されている。毎時の学習の中に、「たしかめ」の問題が設けられている。第2学年以上の巻末には、前学年までの学習とのつながりや既習内容が確認できる「学びのマップ」が掲載されている。</p> <p>② 考えたり話し合ったりする具体的な例として、「学びを深めてなるほどを見つけよう」「学びをつなげてだったらを見つけよう」が設けられている。教科書に登場する友達の考えを基に、2つの考え方を比べ、話し合ったり説明したりする活動が設けられている。</p> <p>③ 第2学年以上の巻末には、自分で取り組む「ステップアップ算数」のコーナーが設けられている。第6学年の巻末には、発展的な問題が設けられている。第4学年以上の巻末には、「広がる算数」を位置付けており、既習の学習から発展的な課題を解決する内容が設定されている。</p> <p>④ 第2学年以上の学年始めの3単元では、「?を見つけよう」「!を見つけよう」など問題発見、解決、追究の学び方のモデルとなる学習の流れが示されている。全学年の巻末で「プログラミングにちょうせん」又は「表計算ソフトにちょうせん」のどちらから一方が設けられている。</p> <p>⑤ ユネスコ無形文化遺産に登録されている「和食」や外国人旅行者の数を教材として扱ったり、伝統工芸品のデザインから対称な図形を見つけたりする活動が設定されている。また、古代エジプトの数の表し方や、いろいろな国の筆算の仕方、和算が紹介されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>目標や児童の発達段階に照らした各単元の構成・配列及び分量や、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図表、文字表記、レイアウト、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第1学年と第5・6学年は、年間1冊になっている。巻頭には、算数で使いたい見方・考え方がまとめられた「算数のミカタ」が掲載されている。算数に関する豆知識や発展的な知識、誤答例が紹介された脚注コラムがページの下部に設けられている。表紙は、算数の学習内容に関わるもので、それを動画で見ることができる設定になっている。</p>

種目名 (算数)

61 啓林館 わくわく 算数	116 日文 小学算数
<p>① 単元のはじめには、既習の確認ができるよう二次元コードで練習問題が表示される設定となっている。単元の終末には、学習内容の確認できる二次元コード付きの練習問題が設けられており、1問ずつのヒントと解答を見たりチェックを入れたりすることができる設定になっている。</p> <p>② 教科書に登場する友達の考えを基に、自分の考えをまとめ、説明したり話し合ったりする学習活動が設定されており、空欄を埋める形で問題が示されている。「見方・考え方を深めよう」では、日常生活に関連したことを学習したことを活用して考え進めていく問題が設定されている。</p> <p>③ 各単元終末の「学びをいかそう・やってみよう」では、学んだことを実生活と関連させた例示を示している。巻末の「学びのサポート」では、自主的に取り組むことができる問題が設けられている。単元間や終末にある練習問題には二次元コードが付いており、反復練習できる設定になっている。</p> <p>④ 第3学年以上には、わくわくSDGsが位置付けられており、現代の諸問題に関する内容が取り上げられている。第6学年巻末「未来へのとびら」では、様々な職業の人へのインタビューを通して、算数が役に立っている場面を紹介している。第1学年からプログラミングに触れるページが設定されている。</p> <p>⑤ 教材の中で、平等院鳳凰堂、大仙古墳、金閣、日光東照宮、岡山城等が取り上げられた学習活動が配置されている。また、キャラクターやイラスト、写真等で、外国にルーツをもつ人々が掲載されていたり、訪日外国人の数を扱った教材が設けられていたりする。</p>	<p>① 単元のはじめには、次への学習の準備問題が設けられ、それに対応したヒントと答えにつながる二次元コードが掲載されている。第2学年以上で単元の終末にまちがいやすい問題や見方・考え方をみがく問題「わかっているかな」のコーナーや、たしかめ問題が設けられている。</p> <p>② 第2学年以上には、「算数で使いたい見方・考え方」と「学び方ガイド」が、厚めの紙で切り離して使える設定になっている。問題について自分の考えをもった後は、説明したり話し合ったりする活動が設定されている。「自分でみんなで」には、説明したり話し合ったりする具体例が示されている。</p> <p>③ 日常生活につながる発展的な問題を取り上げた「使ってみよう」のページが設けられている。「算数ジャンプ」では、学んだことを、日常生活やSDGsに関連させて考えていく問題が取り上げられている。巻末には、自分でコースを選んで取り組める「算数マイトライ」が設けられている。</p> <p>④ 第6学年の「マテマランドを探検しよう」では、学習したことを生かしながら進めていく教材が取り上げられている。また、「データの調べ方」では、問題発見、解決の流れが具体的に示されている。第1学年からプログラミングに触れるページが設けられている。</p> <p>⑤ ユネスコの無形文化遺産に登録された和食や、米の生産地と品種を教材として扱ったり、単元の導入で、和菓子屋での買い物場面を設定したりされている。また、世界の人口や外国の都市の気温を提示したり、外国のわり算の仕方や通貨を紹介したりされている。</p>
<p>第1学年の上巻は、幼稚園等との接続が考えられた、A4判の「すたあとぶっく」になっている。問題や考え、まとめの配置により、見開き2ページ又は1ページで、1単位時間の学習が終了する設定になっている。第6学年には、「数学へのとびら」があり、中学校数学につながる内容が紹介されている。</p>	<p>校種間の接続がスムーズになるよう、第1学年は、入門期に使用する中綴じの分冊がつくられ、第5・6学年は、中学接続マークが設けられている。第5・6学年は、上下巻合本構成で学んでいるページが分かるようにしおりとなる紐が付いている。目次の単元番号や見開きページの右上部分に記載された単元名には、学習内容ごとに色が着いている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

6

教科 理科

種目 理科

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 新しい理科 3	3	A4	178
		新編 新しい理科 4	4	A4	202
		新編 新しい理科 5	5	A4	170
		新編 新しい理科 6	6	A4	202
4	大日本	新版 たのしい理科3年	3	A4	205
		新版 たのしい理科4年	4	A4	229
		新版 たのしい理科5年	5	A4	197
		新版 たのしい理科6年	6	A4	233
11	学図	みんなと学ぶ 小学校 理科 3年	3	AB	188
		みんなと学ぶ 小学校 理科 4年	4	AB	208
		みんなと学ぶ 小学校 理科 5年	5	AB	196
		みんなと学ぶ 小学校 理科 6年	6	AB	236
17	教出	みらいをひらく 小学理科3	3	A4型	193
		未来をひらく 小学理科4	4	A4型	233
		未来をひらく 小学理科5	5	A4型	209
		未来をひらく 小学理科6	6	A4型	225
26	信教	楽しい理科 3年	3	AB	164
		楽しい理科 4年	4	AB	192
		楽しい理科 5年	5	AB	156
		楽しい理科 6年	6	AB	188
61	啓林館	わくわく理科 3	3	AB	190
		わくわく理科 4	4	AB	202
		わくわく理科 5	5	AB	194
		わくわく理科 6	6	AB	218

種目名 (理科)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい理科
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 理科の知識及び技能が様々な場面で生きて働くよう、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、問題解決の力を養う中で、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の自然、科学技術の実情及び科学の発展に貢献した人の業績等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 学習した基礎的・基本的事項を1ページでまとめた「ふりかえろう」が設けられている。また、「たしかめよう」には、基礎的・基本的事項に関する文章の確認問題と、動画視聴した後問題に解答する「デジ問」へのリンクが設けられている。</p> <p>② 学習した内容や日常生活、他教科とのつながりを示した「思い出そう」が問題解決の過程で設けられている。また、各単元の冒頭に、ノートとして活用できるPDFファイルが掲載された「理科ノート」へのリンク、単元内容に関わる動画へのリンクが設けられている。</p> <p>③ 学習内容を身の回りにつなげる問いや日常生活で生かされている例を紹介する「広げよう！理科の発想」が設けられている。また、巻末の「理科とプログラミング」ではプログラミングと学習内容のつながりや、プログラミングができるウェブページへのリンクが紹介されている。</p> <p>④ 話し合いをする際に活用できる「デジ活」や「話し合いの例」が単元に設けられている。また、調べたことのまとめ方や発表の仕方、情報の調べ方等について系統立てて示した「理科の調べ方を身につけよう」が設けられている。</p> <p>⑤ 日常生活や郷土の自然、科学の発展に貢献した人、国土、技術等を紹介したコラム「こんなところにも！理科の世界探検部」が設けられている。また、SDGsと学習内容の関連が紹介され、第6学年ではSDGsの項目のアイコンが学習内容と関連するページに示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>巻末の「1年間をふりかえろう」では、学習した用語について領域ごとにまとめた「学習した理科の言葉」や、次学年又は中学校で学習する内容との関連について示した欄が設けられている。また、多様性に配慮したイラスト・写真が掲載されている。</p>

種目名 (理科)

項目	観 点 の 具 体	4 大日本 新版 たのしい理科
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 理科の知識及び技能が様々な場面で生きて働くよう、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、問題解決の力を養う中で、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の自然、科学技術の実情及び科学の発展に貢献した人の業績等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 学習で扱う実験器具の使用方法を「大きくして調べる」「はかる」「ものを熱する」等、目的に応じて分けて示した「使い方を覚えよう」が設けられている。また、学習した基礎的・基本的事項を示した「〇年のまとめ」に確認用の空所が設けられている。</p> <p>② 学習した内容を生かして考えたり、説明したりする「学んだことを生かそう」が各単元に設けられている。また、学習した内容に関わる防災についての情報が「防災」のアイコンで示されている。第5学年には「災害に備えようブック」が設けられている。</p> <p>③ 学習した内容に関係する「はってん」が設けられ、単元と日常生活とのつながり、先の学年や中学校で学習する内容について紹介されている。また、第3・4学年は、ウェブページ、第5・6学年は紙面に学習した内容を活用して考える「チャレンジ問題」が設けられている。</p> <p>④ 問題解決の過程の「問題の見出し」「考察や結論の導出」の際に留意したい内容を示した「ココに注目」が単元に設けられている。また、図表や絵・イラスト、グラフの利点、ICT活用について示した「記録と整理のしかた」が設けられている。</p> <p>⑤ 郷土の自然や科学技術、科学の発展に貢献した人やその業績等について紹介した「りかのたまてばこ」や「Science World」が設けられている。また、全学年の裏表紙に「ジオパーク」が特集され、我が国の自然についての写真が掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>巻頭に、その学年で身に付けたい理科の見方・考え方が、写真やマンガで示されている。また、表紙にその学年で学習する内容を見取ることができるイラストが掲載されている。二次元コードは基本的にページ下部の同じ位置に配置されている。</p>

種目名 (理科)

11 学図 みんなと学ぶ 小学校 理科	17 教出 未来をひらく 小学理科
<p>① 観察・実験の手順や実験器具の準備、実験器具の操作手順が示された所にチェック欄が設けられている。第3学年の実験において棒グラフによる記録が求められる場面で、算数とのつながりや棒グラフの作成手順が示された「ぼうグラフのかき方」が設けられている。</p> <p>② 学習を通して身に付けたい力が単元の冒頭に示され、「理科モンスター」という学年に応じてレベルアップするキャラクターで紹介されている。また、問題解決の過程で「学習の中で力を出せたところ」にハートを塗る欄が設けられている。</p> <p>③ 学習した内容に関連する発展的な内容につながる問いや観察・実験についての紹介をする「やってみよう」が設けられている。また、コラム「もっと知りたい」の中に学習した内容についての発展的な知識を紹介した「はってん」が設けられている。</p> <p>④ 図書館の活用とICTの使い方が紹介された「調べる」が設けられている。ICTの使い方では、該当する学年の単元での活用事例が示されている。また、対話を進める際の話型や対話の事例を示した「伝える・聞く」が設けられている。</p> <p>⑤ 全学年に掲載された「わたしの自由研究」では、自由研究の進め方について科学分野等で活躍する人からのアドバイスが紹介されている。また、各学年の学習内容に関連する科学の発展に貢献した人の業績を紹介した「科学者を知ろう」が設けられている。</p>	<p>① 各学年で学習した基礎的・基本的事項や学習を通して身に付けた力についてまとめた「〇年で学んだこと」が設けられている。また、各学年で取り上げる観察・実験に関する注意の一覧が示された「理科の安全の手引き」が裏表紙に設けられている。</p> <p>② 学習前と学習後の考えの変化について例示した「学習前の〇〇さん」と「学習後の〇〇さん」が設けられている。また、問題解決の過程ではたらかせる理科の見方・考え方について示した「見方のカギ」「考え方のカギ」が単元内に設けられている。</p> <p>③ 学習内容を身の回りへつなげる「学びを広げよう」やさらにくわしく調べるための「チャレンジ」、先の学年の学習につながる内容を紹介する「資料」が設けられている。また、他の単元や中学校の学習との関連を紹介する「学習のつながり」や「思い出そう」が単元の冒頭に設けられている。</p> <p>④ 国語とのつながりが紹介され、自分の考えを伝えたり比べたりするための話型が示された「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」が巻頭に設けられている。また、問題解決の過程に沿った学習の進め方を示したノートのとりの方の例が紹介されている。</p> <p>⑤ 学習した内容とつながりがある、日常生活における自然の事物・現象、科学の発展に貢献した人、科学技術等を紹介した「科学のまど」が設けられている。また、研究者や宇宙飛行士といった科学技術に関わる人の「メッセージ」が巻末に紹介されている。</p>
<p>その学年で学習する内容に関連付けられた表紙・裏表紙のイラストの掲載がある。また、裏表紙に掲載された目次にSDGsの項目が関連付けて示されている。その学年の観察・実験に使用する植物について「〇年生で準備しておく植物」が巻頭に示されている。</p>	<p>巻末に「大事な言葉」や「使い方・調べ方」、「SDGsとのかかわり」、「動画」、「ウェブずかん」が探せる索引が設けられている。また、その学年の学習内容にかかわりがある科学館や博物館の紹介や見学についての手順を示した「科学館や博物館の利用」が設けられている。</p>

種目名 (理科)

項目	観 点 の 具 体	26 信教 楽しい理科
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 自然の事物・現象についての理解や、観察、実験などに関する技能の習得など、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 理科の知識及び技能が様々な場面で生きて働くよう、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補足的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行うことなどを通して、問題解決の力を養う中で、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の自然、科学技術の実情及び科学の発展に貢献した人の業績等について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、国際理解や協調に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 調べたことや考えたことについての記録例が実際に児童によって書かれたような表現で示されている。学習した内容をまとめた「ふりかえろう」が単元内に設けられている。観察・実験についての説明の近くに、使用する実験器具の使い方が示されている。</p> <p>② 単元で学習する内容とこれまでに学習した内容とのつながりを示した「思い出そう」が設けられている。学習内容に関する情報を示した「しりょう」が単元に設けられている。また、話し合いを行う場面、思考を行う場面が異なる色の印で分けて示されている。</p> <p>③ 単元の冒頭に身近な自然や生活についての写真が掲載されている。単元で学習した内容と、先の学年での学習とのつながりを示した「はってん」が設けられている。また、ものづくりの事例が「ものづくり」というアイコンで示され、各学年で紹介されている。</p> <p>④ 対話により問題を見出す展開例を示したイラストや吹き出しが設けられている。また、巻末の「インターネットで調べてみよう」に各単元で紹介されているウェブコンテンツの索引が設けられ、該当ページと動画の再生時間が示されている。</p> <p>⑤ 科学の発展に貢献した人やその人の業績について取り上げた「ふしぎ なぜ を追い求めた科学者」というコラムが設けられている。また、多様性に配慮したイラストが掲載されている。郷土（長野）に関わることや自然等が取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>その学年で扱う植物の栽培・観察時期や動物の観察時期、天体の観察時期について1年間の予定が巻頭に示されている。また、「理科学習の進め方」で、問題解決の過程と主にその学年で育成を目指す問題解決のために必要な資質・能力が示されている。</p>

61 啓林館 わくわく理科

- ① 単元で学習したことをまとめた「まとめノート」が設けられ、関連する次の学年の「思い出そう」に「まとめノート」と同じものが掲載されている。また、関連する単元の基礎的・基本的事項をまとめた「これまでの学習をつなげよう」が設けられている。
- ② 単元で学習したことを生かして考えたり、説明したりする「活用しよう」が設けられている。また、全学年で「STEAM」について取り上げられ、学習内容に関連する日常生活の場面や科学技術、音楽、ものづくり、アート等について紹介されている。
- ③ ICT端末を活用し、学習したことを生かして映像を見て答える問題ができるCBT「ワクビット」へのリンクが巻末に紹介されている。また、算数や社会、家庭科といった他教科と学習する内容との関連を示した「算数とのつながり」や「理科の広場」が設けられている。
- ④ ICT活用の事例を紹介した「学びの中でICTを活用してみよう」が設けられている。問題解決の過程で活用ができる場面にICTマークが掲載されている。また、考えたことを伝える方法をまとめた「伝える」が巻末に設けられている。
- ⑤ 掲載されている風景の写真には、場所が明記されている。学習した内容と関連がある仕事に携わる人の声を動画で聞くことができる「インタビュー」が設けられている。また、日常生活に関わる自然の事物・現象や科学技術等を紹介した「くらしとリンク」が設けられている。

観察・実験の安全に関してピクトグラムで「やけど」、「はい液」等が示されている。理科の「見方」・「考え方」や「見方・考え方が役立つ場面」が巻末に示されている。また、単元内の理科の見方・考え方についてのキーワードがマーカー線で示されている。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

7

教科 生活

種目 生活

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ 数
番号	略称				
2	東書	どきどき わくわく 新編 あたらしい せいかつ 上	1・2	A4	130
		あしたへ ジャンプ 新編 新しい 生活 下	1・2	A4	122
4	大日本	新版 たのしいせいかつ 上 だいすき	1・2	A4	140
		新版 たのしいせいかつ 下 ひろがれ	1・2	A4	128
11	学図	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上	1・2	A4型	140
		みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下	1・2	A4型	132
17	教出	せいかつ上 みんな なかよし	1・2	A4	130
		せいかつ下 なかよし ひろがれ	1・2	A4	130
26	信教	せいかつ 上 あおぞら	1・2	AB	128
		せいかつ 下 そよかぜ	1・2	AB	104
38	光村	せいかつ たんけんたい 上 はじめてが いっぱい	1・2	A4	137
		せいかつ たんけんたい 下 はっけん だいすき	1・2	A4	127
61	啓林館	わくわく せいかつ上	1・2	AB	148
		いきいき せいかつ下	1・2	AB	138

種目名 (生活)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい生活
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 基礎的・基本的な生活上必要な習慣や技能の確実な定着を図るために、身近な人々や社会、自然とかがかわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 生活の知識及び技能を活用し、自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現する力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえ、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 校内を探検する中で、あいさつや質問のマナー、安全について考えること等、体験を通して生活上必要な力を身に付けるための活動が設定されている。観察活動に必要な技能が身に付けられるよう、観察カードの書き方や観察する時の視点が示されている。</p> <p>② 動くおもちゃ作りでは、動く仕組みに興味を持たせ、もっと動かしたいという意欲につなげるなど、児童が考えるための工夫がされている。各単元に考えるきっかけや深めるヒントが示され、単元の終わりには、カードや新聞、パンフレット等多様な方法で学びを伝える活動が紹介されている。</p> <p>③ 「じぶんでできるよ」では、体験したことや学んだことを終末で振り返り、実生活につなげるようなイラストが掲載されている。巻末の「かつどうべんりちょう」では、具体的な活動例が挙げられ、児童が学びを深めている様子が具体的に示されている。</p> <p>④ 上巻では、幼児期との接続が示されている。全体を通して、イラストを用いて生活科の「見方、考え方」を生かした活動のヒントが示されている。「学びをふかめる」では、気付きの質が高まる姿が具体化され、深い学びの過程が示されている。ICT活用例が具体的に示されている。</p> <p>⑤ 上巻の「やってみよう」では、昔遊びの様子が写真で紹介されている。下巻では、各地の伝統的行事や祭りなどの様子が季節とともに写真やイラストで掲載されている。外国にルーツをもつ児童の写真やイラストが掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他の使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>季節の流れを軸に、内容のまとまりごとに単元が配列され、上巻では学校やその周辺、下巻では地域全体へと活動範囲が広がるように学習活動が構成されている。サイズはA4判で、単元扉には児童の活動のようすやつぶやき、作品例等を見開きに掲載し、活動の見通しが持てるようになっている。巻末には活動に即して身に付ける習慣や技能、学び方をまとめた資料が掲載されている。</p>

種目名 (生活)

項目	観 点 の 具 体	4 大日本 新版 たのしいせいかつ
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 基礎的・基本的な生活上必要な習慣や技能の確実な定着を図るために、身近な人々や社会、自然とかがわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 生活の知識及び技能を活用し、自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現する力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえ、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 上巻「はなややさい、おおきくなってね」では、土づくり、植物を使った遊び等、栽培活動における多様な体験が示されている。観察技能の基礎が身に付けられるよう「かんさつめいじん」では、「並べて・自分と比べて」「かぐ・さわる・聞く」等の視点が示されている。</p> <p>② 下巻「わたしの町はっけん」では、地域の方の話を聞き、疑問を持った上で、再度話を聞いてより深くその人のことや自分との関わりを知ることができるようにされている。学んだことをみんなに知らせるためにICTを活用するなど、発表方法の工夫が示されている。</p> <p>③ 上下巻ともに、活動の見通しが持てるよう、巻頭に「やってみようせいかつか」が設けられている。「かぞくだいすきだよ」は、身近な人を笑顔にしたいという願いにつながる内容になっている。自分の思いや願いを表現するために、自分の考えを書くスペースが設けられている。</p> <p>④ 幼児期で得た諸感覚の活用や遊びを通じた活動が重視されている。「せいかつことば」としてページの隅に多様な言語表現が紹介されている。「がくしゅうのどうぐばこ」では、学習方法について具体的に示され、中学年以降でも活用できる内容となっている。</p> <p>⑤ 上巻「ふゆだいすき」では、伝統的なまつりや日本の遊びが取り上げられている。外国にルーツを持つ児童のイラストが登場し、読者への気付きを促す言葉が掲載されている。下巻の巻末には、各国の国旗やあいさつ、料理等が紹介されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他の使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>季節の流れに沿った大単元構成で、学習内容が各単元の中で一体的に取り上げられており、上巻から下巻へと、学習内容が深まるように構成されている。派手な色使いを抑え、余白を適切に使ったシンプルな画面構成である。ページ下部に児童の気持ちが表現できるように言葉を書き込める吹き出しや、色を塗るマークが掲載されている。</p>

種目名 (生活)

11 学図 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ	17 教出 せいかつ
<p>① 上巻「ありがとうがいっぱい」では、仕事に挑戦した経験を互いに交流し合う活動が設定されている。下巻「作ってあそぼう うごくおもちゃ」では、おもちゃを作った後、もっとパワーアップさせようと試みるなど、気づきや学びを高める工夫がされている。</p> <p>② 「野さいしんぶん」「ダンゴムシはっ見カード」等、自分が見つけたことや学んだことをまとめ、掲示や本づくり、発表等で工夫して伝える活動が設定されている。「生き物ともだち」では、どんな世話をしたら生き物がすみやすいかなどと問いかけ、考えるきっかけを示している。</p> <p>③ 表紙及び裏表紙に、2年間の学習内容を見通すことができる写真やイラストが掲載されている。主体的な活動につなげる「ものしり図かん」「ものしりノート」が設けられている。単元末の「もっと○○」では、学習したことを活用し、実生活でもやってみたいなど思う内容になっている。</p> <p>④ 小学校生活を安心して始められるよう、上巻に「はじまるよしょうがっこう」が設けられている。巻末の「まなびかたずかん」では、学ぶ力をつけるため、話し方、聞き方、発表の仕方等が掲載されている。作文の書き方では、書き始めや書く際のポイントが具体的に示されている。</p> <p>⑤ 上巻「ふゆをたのしもう」では、高齢者から教わりながら昔遊びをしている様子や遊び方が、写真やイラストで掲載されており、下巻では日本の伝統的な祭りが紹介されている。下巻から外国にルーツを持つ児童がイラストで登場している。</p>	<p>① 気づきや疑問を基に学びを深めていくために、校内や町を探検する活動が繰り返し設定されている。観察や活動における基本的な技能が身に付けられるよう、活動内容に応じて「比べる」「結びつける」「見方を変える」などの視点が示されている。</p> <p>② 下巻「作ってためして」では、材料の組み合わせや力と動きの関係等、視点を変えて活動を重ねることで、動くおもちゃの面白さに気づき、達成感を味わえるようにされている。感じたこと等を絵や文字で表したワークシートが紹介されており、表現力の育成につなげられるようになっている。</p> <p>③ 気づきの質を高めるキャラクターの言葉掛けが掲載されている。「もしも」には、児童の興味・関心を高め、思考を広げたり深めたりするきっかけとなる問い掛けが掲載されている。学習の動機づけ、主体的な活動につなげる「わくわくスイッチ」が設けられている。</p> <p>④ 上巻「はじめのいっぽ」では、幼児期の経験が挿絵で表されており、学童期への移行をスムーズにつなげる工夫がある。「はってん」のコラムと「楽しかったね生活科」は、中学年以降の教科の学びと繋げる仕組みとなっている。「学びのポケット」では、他教科の学習との関連が示されている。</p> <p>⑤ 下巻「わたしのまちのじまん」では、日本の歴史的建造物や伝統料理が紹介されている。表紙や各単元に、外国にルーツを持つ児童の写真やイラストが掲載されている。児童への問い掛けや学習の方向性を示すコメントが掲載されている。</p>
<p>上巻から下巻へと、活動や体験の場が広がるよう単元が配置されている。「わたしのあさがお」では、種まきから種の収穫までが一単元にまとめられている。目次には1年間の見通しを持つことができるよう単元を実施する時期が示されている。最終ページには、保護者に各単元のねらいが紹介されている。A4判より縦が2cm短い紙面で、各見開き左上に単元における本時の位置づけが示されている。</p>	<p>上巻から下巻へと、児童の行動範囲や気づきが広がるよう構成されている。目次には1年間の見通しを持つことができるよう、単元を実施する時期の目安と単元インデックスが示されている。また、各ページの左上部に、各単元で特に児童に育成したい力がサイコロ型で示されている。</p>

種目名 (生活)

項目	観 点 の 具 体	26 信教 せいかつ
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 基礎的・基本的な生活上必要な習慣や技能の確実な定着を図るために、身近な人々や社会、自然とかかわる具体的な体験や活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 生活の知識及び技能を活用し、自分自身や自分の生活について多様な方法を使って考え表現する力を育成する活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 自分の思いや願いを生活に生かし主体的に活動する態度を育成するために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 幼児期の教育や中学年以降の学習、実生活とのつながりを踏まえ、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 伝統的な行事等への関心を高め、地域への親しみや愛着を持つとともに、国際理解を深めることができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 上巻「いきものといっしょ」では、ヤギやウサギの世話、小屋づくり等、全身で生き物と関わり合い、生き物や自然への理解を深めるための活動が取り上げられている。下巻「わたしたちがすむ町」では、人と関わりながら町の特徴、歴史、行事等に触れる活動が設定されている。</p> <p>② 単元の振り返りでは、自分の成長を実感できるよう、自分の生活や地域との関わり方等を記録に残す活動が設定されている。また、継続して観察した記録を本や巻物、かるたにまとめたり、家族や地域の方に紹介したりするなど、工夫して表現する例が示されている。</p> <p>③ 主体的な活動に繋がるよう、作文、詩、歌等が学習に関連付けて取り上げられている。地域に根ざした「人・もの・こと」との関わりやふれあい、交流を通して、自己の思いや願いに気づき、学びが深まるよう、地域の方の協力を得ながら活動する場面が取り上げられている。</p> <p>④ 入学期の子どもの発達段階を考慮し、具体的な体験や遊びから、様々な学習へ繋がるよう活動が紹介されている。中学年以降の教科及び総合的な学習の時間へ繋がるよう、タブレット型端末等、情報機器の活用が取り上げられている。</p> <p>⑤ 季節の行事や地域の伝統が紹介されており、地域への愛着が深まるような工夫がされている。下巻「わたしたちがすむまち」では、伝統芸能や史跡等を調べる活動が紹介されている。外国にルーツをもつ児童がイラストで取り上げられている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、また、目次、索引、凡例、諸表その他の使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>地域性を考慮した教材と季節を通した直接体験による気づきを重視し、生活や活動に合わせた時系列で単元が構成されており、学校での実践の様子が、写真やイラスト等で分かりやすく紹介されている。右開きで製本され、説明文、学習カード等は縦書きで記されている。巻頭ページに生活科のねらい等を説明した保護者へのメッセージが掲載されている。</p>

38 光村 せいかつ たんけんたい	61 啓林館 せいかつ
<p>① 花や野菜を育てる体験を通して他者の存在や、町で働く人々の思いに気付く等、活動を通じて学びを深める工夫がされている。生活科で育成したい力を14項目に整理し、活動を進める中でヒントや振り返りとして提示することで、知識や技能として定着できるようになっている。</p> <p>② 考える力を育むことができるよう、活動の中に相談したり試行錯誤したりしながら、解決策や改善策を考える場面が設定されている。また、単元の最後には、相手に応じた方法で、調べたことや学んだことを表現し、伝える活動の場面が設けられている。</p> <p>③ 自分の経験と結びつけたり、考えたりできるよう「こんなこともあるかもね」など、イラストを使ったコラムが設定されている。各単元の最後には、学習を通して得た思いや願いを生活につなげていくことができるよう、振り返りのページが設けられている。</p> <p>④ 上巻最初の単元には、スタートカリキュラムとの関連が、下巻最後の単元には、中学年での学習への繋がりが示されている。自分の思いを言語化し、次時の学習や実生活とのつながりを意識できるよう、各小単元に「ふりかえろう」が位置付けられている。</p> <p>⑤ 上巻「なつのたのしみ」や「ふゆのたのしみ」、下巻「きせつのくらし」では、祭りや季節の行事、旬の食べ物等が写真で掲載されている。上下巻ともに外国にルーツをもつ児童が写真で取り上げられている。</p>	<p>① 校内から校外へと活動範囲を広げる中で、挨拶や聞き方、マナー等の育成したい力を身に付けられるよう活動が設定されている。具体的な活動場면을示した吹き出しやイラストの中にヒントが盛り込まれ、活動が広がったり深まったりするように工夫されている。</p> <p>② 生き物の世話を継続したり、動くおもちゃ作り等に繰り返し挑戦したりするなど、気付きや考えを深める活動が設定されている。また、多様な考えを引き出せるよう、Yチャート、ピラミッドチャート、ステップチャート等、考えるための技法を可視化する方法が紹介されている。</p> <p>③ 低学年の児童が楽しく学べる内容が豊富にあり、児童の知的好奇心を高める工夫がある。単元導入時に児童の生活体験や身の回りの人との関わりを振り返る「わくわくたいむ」が設定されており、児童の思いや願いを引き出した上で、主体的に学習活動に臨めるような工夫がなされている。</p> <p>④ 上巻巻頭には幼児期からの学びをつなぐ「すたあとぶっく」、下巻巻末には中学年以降の学習をつなぐ「ステップブック」があり、学びを繋げる工夫がされている。各教科との関連があるページには、教科名が明記されたマークと具体例が示され、学びのつながりが意識しやすいつくりとなっている。</p> <p>⑤ 上巻では、夏や冬の生活や地域の祭りの様子が写真やイラストで紹介されている。下巻では、四季の旬の食べ物や伝統行事、各地の祭りの様子が掲載されている。上下巻を通じて外国にルーツを持つ児童のイラストが掲載されている。</p>
<p>上巻から下巻へと、活動や体験の場が広がり、内容も深まるよう学習内容が配置されている。全単元の冒頭に、学習活動や表現のバリエーションが増えるよう「学習過程が分かる写真」「児童のつぶやき例」「学び方のヒント」「生活体験の振り返り」等が配置されている。特定の単元に留まらない汎用的なスキルや資料等が別冊付録としてまとめられている。</p>	<p>学びが繰り返し深まるように「わくわく」(導入)、「いきいき」(主たる活動)、「ぐんぐん」(振り返り)の3段階で各単元が構成されている。上巻は、学校とその周辺を主として、下巻は地域を主として内容が配列されている。最終ページで、教科書の構成等が保護者へ向けて示されている。巻末付録の「がくしゅうずかん」が活動に応じて参照できるように、本編に関連ページが掲載されている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

8

教科 音楽

種目 音楽

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
17	教出	小学音楽 おんがくのおくりもの1	1	AB変型	82
		小学音楽 音楽のおくりもの2	2	AB変型	82
		小学音楽 音楽のおくりもの3	3	AB変型	86
		小学音楽 音楽のおくりもの4	4	AB変型	88
		小学音楽 音楽のおくりもの5	5	AB変型	88
		小学音楽 音楽のおくりもの6	6	AB変型	88
27	教芸	小学生のおんがく 1	1	AB変型	82
		小学生の音楽 2	2	AB変型	82
		小学生の音楽 3	3	AB変型	86
		小学生の音楽 4	4	AB変型	86
		小学生の音楽 5	5	AB変型	86
		小学生の音楽 6	6	AB変型	86

種目名 (音楽)

項目	観 点 の 具 体	17 教出 小学音楽
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 音楽に対する感性を働かせ、音楽表現を生み出したり、音楽のよさ等を見出だしたりする等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 曲想と音楽の構造等との関わりについての理解や、表現の技能を活用し、表したい音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりするために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、実生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識を深め、音楽科の特質に応じた言語活動の内容をどのように位置付けたり、情報活用能力を育成したりすることができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 新しく学習する音符や記号、リコーダーの運指等がページ端に掲載されている。第2～6学年では、巻頭に「スキルアップ」と題し、歌声とリズムのトレーニングができる楽曲が掲載されている。音楽づくりや鑑賞教材のページでは、学びや気付きが書き込めるようになっている。</p> <p>② 音楽を形づくっている要素が「音楽のもと」として見開きごとに示されており、第3～6学年では、気付いたこと等をメモできるようページが構成されている。表現や鑑賞の活動の参考となる写真やイラストが掲載されている。</p> <p>③ 学習の見通しや活動が「学習マップ」に示されている。どのように学ぶかが「まなびナビ」に示されていたり、関連のあるページやこれまでの学習を思い出すためのページが示されたりしている。全学年共通した楽曲が全校合唱として紹介されており、各学年に応じた難易度で演奏できるよう異なる楽譜が掲載されている。</p> <p>④ 生活や社会と音楽との関わりについて考えるために、第4学年では各地のお祭りが、第5学年では民謡が紹介されている。複数人で工夫しながら音楽づくりをしたり、鑑賞では思ったことを伝え合ったりするよう示されている。必要に応じて学習に役立つ情報をウェブサイトで見られるように、閲覧できる資料と関連する箇所に二次元コードが示されている。</p> <p>⑤ 共通教材や日本で歌い継がれている楽曲が「にっぽんのうた みんなのうた」として掲載されている。世界の音楽を楽しむために、第3学年では「日本と世界の音楽」として日本や世界の子どもの歌が、第6学年では「世界の音楽」として諸外国の様々な声や楽器による音楽が、掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>共通歌唱教材では、情景がイメージしやすいように、折込みページで大きな写真が掲載されている。巻末には「音楽のもと」や「音楽を表すいろいろな言葉」、「楽器図鑑」、リコーダーの運指表、音符や休符、記号等が学習する学年に応じてまとめられている。</p>

種目名 (音楽)

項目	観 点 の 具 体	27 教芸 小学生の音楽
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 音楽に対する感性を働かせ、音楽表現を生み出したり、音楽のよさ等を見出だしたりする等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 曲想と音楽の構造等との関わりについての理解や、表現の技能を活用し、表したい音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりするために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 音や音楽と自分との関わりを築いていけるよう、実生活や社会の中の音や音楽の働きについての意識を深め、音楽科の特質に応じた言語活動の内容をどのように位置付けたり、情報活用能力を育成したりすることができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 第1～4学年では、「そだてよう」と題し、音楽の力を育てるために繰り返し行う活動が掲載されている。新しく学習する音符や休符、記号などが「かくふマスター」として掲載されており、音符や休符はなぞったり書き込んだりすることができるようになっている。</p> <p>② 音楽を形づくっている要素がページ端に掲載されている。知識や技能を活用して表現や鑑賞をするための活動が、「考える」「見つける」「歌う」等のマークで示されている。音の高さやリズムが視覚的に捉えられるよう、図形楽譜が示されている。</p> <p>③ 学びをより深めるために、キャラクターの吹き出しによって学習を促す内容が示されていたり、これまでに学習したことをもう一度確かめるためのページが示されたりしている。また、「チャレンジ」として、より進んだ学習活動や、「ステップアップ」として、知識をより広げるための学習が示されている。</p> <p>④ 第1学年の音楽づくりでは、学校の中で聞こえる音を探して声で表して紹介したり、第2学年では、生活の中にある音を楽しむために動物等の鳴き声を用いて活動したりするよう示されている。第6学年では、著作権について示されている。必要に応じて、学習に役立つ音楽や資料を見たりすることができるよう、ページ右上にウェブサイトの二次元コードが示されている。</p> <p>⑤ 共通教材は「こころのうた」として、日本で歌い継がれている楽曲は「歌いごう日本の歌」として掲載されている。第6学年では、日本や世界の音楽に親しむために、日本の雅楽と合わせて、「世界の国々の音楽」として合奏の音楽が掲載されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>学習のまとめりごとに、学習を振り返り、次の学習につなげていけるような内容が示されている。巻末には、「ふり返りのページ」やリコーダーの運指表、音符や休符、記号等がまとめられており、当該学年の既習事項が色分けされていたり、扱ったものについてはページが示されたりしている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

9

教科 図画工作

種目 図画工作

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
9	開隆堂	ずがこうさく1・2上 わくわくするね	1・2	A4	64
		ずがこうさく1・2下 みつけたよ	1・2	A4	64
		図画工作3・4上 できたらいいな	3・4	A4	64
		図画工作3・4下 力を合わせて	3・4	A4	64
		図画工作5・6上 心をひらいて	5・6	A4	64
		図画工作5・6下 つながる思い	5・6	A4	68
116	日文	ずがこうさく1・2上 まるごと たのしもう	1・2	A4	68
		ずがこうさく1・2下 まるごと たのしもう	1・2	A4	64
		図画工作3・4上 ためす 見つける	3・4	A4	64
		図画工作3・4下 ためす 見つける	3・4	A4	64
		図画工作5・6上 わたしとひびき合う	5・6	A4	70
		図画工作5・6下 わたしとひびき合う	5・6	A4	68

種目名 (図工)

項目	観 点 の 具 体	9 開隆堂 図画工作
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 造形的な創造活動の基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 造形的な視点についての実感的な理解や創造的な技能を活用し、発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりするために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 図画工作科の特質に応じた言語活動や情報活用に関する活動を通して、実生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる資質・能力を育成することができる内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の美術作品や伝統・文化などについて理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 各題材では、学習のめあてが3観点で示されている。特に重点となるめあては下線で強調され、対応したキャラクターによって学習のポイントが示されている。巻末の「学びの資料」には、形や色等の造形要素、技法や材料、用具等についての基礎的・基本的な事項がまとめて示されている。</p> <p>② 各巻の「ひらめきショートチャレンジ」では、造形的な発想の方法を短時間で実験的に学ぶ活動が紹介されている。また、「小さな美術館」では、表現の題材と一体的に扱える鑑賞作品が取り上げられており、図画工作の見方や考え方を広げる視点がイラストのマークとともに示されている。</p> <p>③ 各題材の右下部の「あわせて学ぼう」では、他教科等と関連付けて学習するためのヒントが紹介されている。「SDGsコラム」では、SDGsに関わる造形的な取組や海外の児童作品が掲載されている。また、SDGsに配慮した材料の選び方や再利用の仕方等も紹介されている。</p> <p>④ 中、高学年の「つながる造形」では、身近な案内看板やマーク、公共の場所での設備の工夫、美術館の楽しみ方等、図画工作と社会との関わりの事例が紹介されている。また、映像や写真、ワークシート等が、題材ごとにまとめられており、接続するための二次元コードが掲載されている。</p> <p>⑤ 各巻の「みんなのギャラリー」では、地域の伝統や素材を生かした造形活動が掲載されている。第5・6学年下巻の「よさを感じて取り入れて」では、日本と西洋の表現の特徴やよさを比較する作品が取り上げられている。また、人々の幸せや平和をテーマとして、池田学や岡本太郎の作品が紹介されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、表現及び鑑賞の活動の関連を図る等の学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図版、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>巻頭には、表紙の題字に連動した導入のページ、マークの紹介等が掲載されている。巻末には、1年間の学習を振り返る視点が示されている。各題材は、見開き2ページを基本に構成されており、児童の思いや工夫したこと等が、吹き出しや作品下のコメントとして記載されている。また、作品には、指示を明確にするための図版番号が付けられている。</p>

種目名 (図工)

項目	観 点 の 具 体	116 日 文 図 画 工 作
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 造形的な創造活動の基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 造形的な視点についての実感的な理解や創造的な技能を活用し、発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりするために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 図画工作科の特質に応じた言語活動や情報活用に関する活動を通して、実生活や社会の中の形や色などと豊かにかかわる資質・能力を育成することができる内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の美術作品や伝統・文化などについて理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 各題材では、学習のめあてが3観点5項目で示されている。特に重点となるめあてのポイントとして、「表現のヒント」「鑑賞のヒント」が示されている。巻末の「材料と用具のひきだし」には、技法の手順、材料や用具の安全な取り扱い方等の基礎的・基本的な事項がまとめて示されている。</p> <p>② 各巻の「図工のみかた」では、発想や構想や表現のヒントになる投げかけが、写真やイラストとともに示されている。「教科書美術館」では、表現の題材と一体的に扱える鑑賞作品が取り上げられている。また、高学年では、考えるための技法を使って表し方を整理する方法が紹介されている。</p> <p>③ 各題材の右下部の「つながる学び」では、他教科等との関わりが示されている。特に、第3・4学年下巻からプログラミングを活用した題材が示されている。また、各巻にブラウザ上で動かせるアート・カードが掲載されており、発達段階に応じた活用例や対話しながら鑑賞する方法が紹介されている。</p> <p>④ 各巻の「広がる図工」では、身近に見られるマークやキャラクター、廃材を利用した作品の制作や展示、美術館の役割や楽しみ方等、図画工作と社会とのかかわりの事例が紹介されている。また、映像や写真、アニメーション制作のアプリ等に接続するための二次元コードが掲載されている。</p> <p>⑤ 第5・6学年下巻の「もようから見つけて」では、着物やガラス工芸品、日本の伝統文様等が紹介されている。「墨と水から広がる世界」では、作品の他に和紙や伝統工芸が紹介されている。また、「平和を願って」では、ピカソ作「ゲルニカ」や広島、長崎の児童や作家による造形活動が取り上げられている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容が系統的に構成され、表現及び鑑賞の活動の関連を図る等の学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、図版、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>巻頭には、題材のページの構成やマークを紹介した「教科書の使い方」や「学習の進め方」、表紙の副題と連動した導入の鑑賞ページ等が掲載されている。各学年の下巻には、1年間の学習を振り返る視点が示されている。各題材は、見開き2ページを基本に構成されており、児童の思いや工夫したこと等が、活動の様子や作品の吹き出しで記載されている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

10

教科 家庭

種目 家庭

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 新しい家庭 5・6 私がつくる みんなでつくる 明日をつくる	5・6	A4	150
9	開隆堂	わたしたちの家庭科 5・6	5・6	A4	154

種目名 (家庭)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編新しい 家庭
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 家庭の知識及び技能が様々な場面で生きて働くよう、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p> <p>④ 身近な生活の課題を解決し、家庭や地域で実践する能力を身に付けさせるために、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 図や写真で確認しながら活動することで、基礎的な知識及び技能が定着するように、「いつも確かめよう」が示されている。また、巻末には、包丁の持ち方等が教科書の上に手を乗せて確認できるように写真が実物大で示されている。</p> <p>② 児童が題材を通して学んだ知識及び技能を基にして考え、自分の言葉で表現することができるように、具体的なレポートや表の記述例が「考えよう」、「話し合おう」として掲載されている。</p> <p>③ 生活の中から課題を見付けられるように促し、家庭学習につないでいけるように生活の課題と実践が「生活を変えるチャンス!」として示されている。また、児童が主体的に家庭や地域で取り組める具体例が「夏休みわくわくチャレンジ!」や「深めよう」で示されている。</p> <p>④ 題材の導入では、自分なりに課題を持って学習に取り組めるように、児童の身近な場面が具体的に写真等で示されている。「調べよう」では、児童に身近な生活の課題が具体的に示されている。</p> <p>⑤ 伝統的な内容に、「日本の伝統マーク」が付けられている。異なる視点から日本の文化を捉えられるような記事が掲載されている。他国を尊重する態度を養うため、外国の方と関わる様子がイラストの中に示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>学習内容は第5学年で8題材、第6学年で7題材から構成されている。問題解決的に学習を進めるために、どの題材も学習の流れは3ステップで構成されている。また、学びを深めるために各題材の導入で生活を見つめるときの見方や考え方が「家庭科の窓」として示されている。</p>

種目名 (家庭)

項目	観 点 の 具 体	9 開隆堂 わたしたちの家庭科
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 家庭の知識及び技能が様々な場面で生きて働くよう、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、創意工夫がどのようになされているか。</p> <p>④ 身近な生活の課題を解決し、家庭や地域で実践する能力を身に付けさせるために、言語能力や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 調理や製作等の実習手順が、活動している児童視点の写真とともに、見開きページで横に流れるように示されている。また、細部の理解を図ることができるように拡大写真やイラストが示されている。</p> <p>② 「話し合おう」や「考えよう」の中で知識及び技能を活用して考える具体的な活動が示されている。学びを言葉で表現したり、まとめたりできるように、振り返りカードとその記述例が示されている。</p> <p>③ 学習内容と生活とのつながりを考えることができるように、「レッツトライ！生活の課題と実せん」のページが設けられている。また、発展的な学習内容に取り組めるように、生活の課題と実践の具体例が写真やイラストを用いて示されている。</p> <p>④ 学習内容を生活に生かすことができるように、題材ごとに「生かす・深める」が設けられている。題材の導入に、生活の中から問題を発見することを促す写真や文が掲載されている。</p> <p>⑤ 日本の文化や先人の工夫に気付くことができるように、日本の伝統的な生活文化には「伝統マーク」が付けられている。他国への理解を深めることができるように、外国の料理や建築物が紹介されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及びその配分や表記、目次、索引、凡例、諸表その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>学習内容は第5学年で11題材、第6学年で9題材から構成されている。全題材を通して、問題解決的な学習に取り組むために、3ステップで学習を進めるよう構成されている。また、生活の営みに係る見方・考え方の4つの視点がイラストで示されている。</p>

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

1 1

教科 体育

種目 保健

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 新しいほけん 3・4	3・4	A4	46
		新編 新しい保健 5・6	5・6	A4	78
4	大日本	新版 たのしいほけん 3・4年	3・4	A4	46
		新版 たのしい保健 5・6年	5・6	A4	70
50	大修館	新 小学校ほけん 3・4年	3・4	A4型	50
		新 小学校保健 5・6年	5・6	A4型	74
207	文教社	新わたしたちのほけん 3・4年	3・4	A4	38
		新わたしたちの保健 5・6年	5・6	A4	84
208	光文	小学ほけん 3・4年	3・4	A4	42
		小学保健 5・6年	5・6	A4	66
224	学研	新・みんなのほけん 3・4年	3・4	A4	50
		新・みんなの保健 5・6年	5・6	A4	90

種目名 (保健)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい保健
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 健康・安全の大切さに気付く等、知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 保健を学ぶことの意義や有用性の実感及び健康・安全への関心を高めるために、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 単元のはじめに、学習内容から目標へとつながる流れが示されている。「気づく・見つける、調べる・解決する、深める・伝える、まとめる・生かす」の4つの学習過程で構成され、「まとめる・生かす」では、重要語句の確認や学習後の振り返りを記入する欄が設けられている。</p> <p>② 健康についての課題をつかむために、1時間ごとに「気づく・見つける」が1ページで示されている。4つの学習過程ごとに、自分が気づいたり考えたりしたことを記入する欄が設けられている。「深める・伝える」では、ほかの人の意見を聞いて、考えたこと等を書く欄が設けられている。</p> <p>③ 小単元のはじめに「学習の課題」が示されている。小単元の終末には、学習内容を実生活につなげられる資料が掲載されている。また、各単元のはじめには、関連のある教科等やSDG s が示されており、各単元の終末に学習を広げたり、深めたりするための資料が掲載されている。</p> <p>④ 各単元のはじめに、学習内容に関連する教科名や学年が示されている。小単元の終末には、学習内容をもとに考え、筋道を立てて説明できるよう「深める・伝える」が設定されている。第3・4学年では、日常に取り入れられる運動の例が示されている。第5・6学年では、自分の気持ちや考えを上手に伝える方法が取り上げられている。</p> <p>⑤ 各章の冒頭に、学習内容とSDG s との関わりが示されている。第5・6学年では、身の回りのユニバーサルデザインを探す活動や、世界で流行した感染症について各国の感染状況を比較したグラフ等が取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭、巻末の資料、挿絵、写真、文字表記、レイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>第5・6学年の巻末に、「どんな自分になれたかな」のコーナーが設定されている。表紙や教科書内では様々な国籍や障がいがある人物のイラストが示されている。各単元の重要語句が太字で示されている。</p>

種目名 (保健)

項目	観 点 の 具 体	4 大日本 新版 たのしい保健
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 健康・安全の大切さに気付く等、知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 保健を学ぶことの意義や有用性の実感及び健康・安全への関心を高めるために、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 単元のはじめに、これから学習する具体的な内容が示されている。1時間は、「見つける・考えてやってみる・まとめる・広げる深める」の4つの学習過程で構成されている。単元の終末には、学習内容を振り返り気付いたことや生かしたいことを記入する「学年のまとめ」が設けられている。</p> <p>② 単元のはじめに、課題を見付けるための「とびら学習ゲーム」が示されている。学習過程ごとに、自分の生活を振り返り、学習内容を基に自分の考えを記入する欄が設けられている。巻末には、これからの生活で、「知りたいこと」や「やってみたいこと」、夢等を記入する欄が設けられている。</p> <p>③ 各小単元では「つかもう」や「話し合おう」、「活かそう」のコーナーで、学習活動を促す内容が取り上げられている。各単元の終末には、「もっと知りたい」のコーナーがあり、発展的な学習内容の資料が示され、各単元のまとめのページが設けられている。</p> <p>④ 各ページ下部の「ミニちしき」では、学習内容に関連する情報が示されている。「話し合おう」では、学習したことを基に考えたり、友達と意見を交流したりして記述する欄が設けられている。第3・4学年では睡眠と成長ホルモンの関係について、第5・6学年ではパソコンやスマートフォンと上手につきあう方法の例が取り上げられている。</p> <p>⑤ 第3・4学年では、保健と「毎日の生活」「地域」「世界」との関わりが写真やイラストで示され、外国における成長を喜ぶ文化を探る取組が紹介されている。第5・6学年では保健とSDGsとの関わりについて日本や世界での取組が示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭、巻末の資料、挿絵、写真、文字表記、レイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>巻頭に「おりこみカード」が付され、学習中に活用するように記述されている。第3・4学年では1歳頃の赤ちゃんの手形と今の自分の手形を比較する活動が取り上げられている。巻頭ではスポーツ選手の保健に関するメッセージや写真が紹介されている。</p>

種目名 (保健)

50 大修館 新 小学校 保健	207 文教社 新わたしたちの保健
<p>① クイズで本時の学習を確かめられる「ほけんクイズ」にアクセスできる二次元コードが掲載されている。体育(運動)と関連して学ぶことで理解を深める内容が「体育の窓」に示されている。単元の終末には、学習した言葉の確認、自分の生活で特に生かしたいこと等を記入する欄が設けられている。</p> <p>② 単元のはじめに、スポーツ選手等へのインタビューが紹介されており、そこから課題をつかむ構成になっている。自分の考えを書き出したり、整理したりする「考えよう」や自分の考えを説明したり友達の意見を聞いたりする「話し合おう」の活動が取り入れられている。</p> <p>③ 小単元のはじめには、「きょうの課題」、小単元の終末には、学習内容を生かして考えたり友達の考えと比べたりして学習をまとめられる「まとめ、生かそう、伝えよう」が設定されている。単元の終末には、「もっと学びを広げよう! 深めよう!」で学習と関わりのある資料が紹介されている。</p> <p>④ 巻頭に生活の中にある保健が示されている。「話し合おう」として具体的なテーマが示されており、自分の考えを説明する活動が取り入れられている。より暮らしやすい社会を目指して、第3・4学年では共に支え合う社会をつくる取組を、第5・6学年では自然環境を大切にする取組が取り上げられている。</p> <p>⑤ 第3・4学年では、誰もが暮らしやすい社会に向けて、身近な地域で取り組める活動がイラストで紹介されている。第5・6学年では、「病気の予防」において、国境なき医師団に所属している日本人医師の活動が取り上げられている。</p>	<p>① 毎時間、「学習のめあて」と学習の見通しとなる「本時のMenu」「学習のまとめ」が示されている。学習内容のキーワードとして「Mission」、学習活動として「Stage」が示されている。学習内容を強調するための「ここが大事」や、キャラクターの吹き出しを用いて大切な用語の説明をしている。</p> <p>② 1時間ごとに学習を振り返り、これからは生かしたいことを記入する「もう一歩先の自分へ」コーナーが設けられている。単元の終末には、「わたしの〇〇宣言」コーナーが設定され、学習したことを基に、自分の課題を考えて発表し、友達からの応援メッセージを記入する欄が設けられている。</p> <p>③ 「Mission」の下段に学習のポイントをつかむための課題が、「Stage」によって学習活動が示されている。学習内容をさらに深められる「もっと考えよう課」や「もっと知っとこう課」コーナーが設けられている。単元末には「Episode」で学習に関連する内容が示されている。</p> <p>④ 実生活へつなげるために、今までの自分の生活を振り返り、今後どう活かしていくのかを考えて記述する「もう一歩先の自分へ」が設定されている。第3・4学年では、個性を大切にしながら、お互いを認め合うこと、第5・6学年では、SNSでのトラブルが起こる例やその対処方法について取り上げられている。</p> <p>⑤ 全学年で、SDGsの目標の1つである「5 ジェンダー平等を実現しよう」の項目が取り上げられている。第5・6学年では、薬物乱用とその刑罰についての世界と日本を比較した資料が取り上げられている。</p>
<p>巻頭に「生活の中の保健をさがそう!」が示されている。学習のまとめ部分では、学習したことを生かしてアドバイスを考える形式でまとめるように示されている。各単元に各界の著名人の写真とともに、保健に対するメッセージが紹介されている。</p>	<p>単元の終末の「わたしの〇〇宣言」で学習をまとめるように示されている。第5・6学年の巻末の「中学生になるみなさんへ」では、警察官やスポーツ選手からの保健に関するメッセージが紹介されている。交通事故に関する資料が表記されている。</p>

種目名 (保健)

項目	観 点 の 具 体	208 光文 小学保健
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 健康な生活、体の発育・発達、心の健康、けがの防止及び病気の予防について等、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 健康・安全の大切さに気付く等、知識及び技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育むために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるために、教材や学習活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 保健を学ぶことの意義や有用性の実感及び健康・安全への関心を高めるために、言語活動や情報活用能力、問題発見・解決能力を育成することができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる活動の内容がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 学習内容を確認しやすいように、学習のまとめに☆マークが付けられ、学習内容に関わりのある仕事をする人の話や学習内容の理解を深めることができる科学的な資料が示されている。単元の終末には、大切な言葉を確認する「学習のまとめ」が設定されている。</p> <p>② 単元のはじめに、学習課題をつかむための導入が4コマ漫画の形式によって示されている。また、「学んだことを生かそう」のコーナーでは、学習内容を自分の生活にどのように生かしたいかを考えて書き込むための欄が設けられている。</p> <p>③ 巻頭には、学習を進めるための内容やポイントが示されている。学習内容をさらに広げたり深めたりできる資料として「さらに広げよう深めよう」のページが設けられている。各単元の終末には、学習したことを確認し、自分で振り返りができるように「学習のまとめ」が設定されている。</p> <p>④ 巻頭に「保健を学ぶみなさんへ」のコーナーが示され、オリンピック選手や作家等の言葉が取り上げられている。「話し合おう」で具体的なテーマが示されており、自分の考えを話す活動が取り入れられている。第3・4学年では日常生活の中で運動になること、第5・6学年ではよりよいコミュニケーションが取り上げられている。</p> <p>⑤ 自分ができる取組について考えるため、第3・4学年ではSDGsの取り組みの中の「ゴール6安全な水とトイレを世界中に」の課題、第5・6学年では「ゴール3すべての人に健康と福祉を」の課題が示されている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭、巻末の資料、挿絵、写真、文字表記、レイアウト等その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>1歳頃の赤ちゃんの手や足の原寸大の写真が紹介されている。各単元の学習のまとめでは、選択肢から重要語句を選んでまとめていくように示されている。巻頭では、各界の著名人の写真やその方々からの言葉が取り上げられている。</p>

224 学研 新・みんなの保健

- ① 単元のはじめに、学習目標と単元の流れが示されている。1時間ごとに、「振り返る・調べる」「話し合う・説明する」「学びを生かす」の学習過程で構成されている。単元の終末の「振り返る・伝える・つなぐ」コーナーで、学習の振り返りや伝えたいこと等を記入する欄が設けられている。
- ② 3つの学習過程ごとに具体的な課題が示され、自分の考えを書き込める欄が設けられている。巻末には、「学習で特に心に残っていること」「生活に生かしたいと思ったこと」を記入できる「学びが つながる みらいへつながる」コーナーが設定されている。
- ③ 巻頭に「健康」について示されている。小単元の終末には、「ほけんのはこ」で学習内容を広げたり深めたりするような資料が示されている。また、学習意欲が喚起されるよう、学習内容を発展させる資料が「もっと知りたい・調べたい」のコーナーで紹介されている。
- ④ 各単元のはじめには、「つなぐ」で学習内容に関連する教科名や学年が示されている。言語活動を充実させるために話し合っ て気づきを書く欄が設けられている。第3・4学年では、規則正しいリズムの生活を送るための例が示されている。第5・6学年では、悩みやいじめの例が示され、対処方法について取り上げられている。
- ⑤ 第3・4学年では、日本食や郷土料理を取り上げ、給食や家庭料理から郷土料理を見つける取組が紹介されている。第5・6学年では、世界で流行した感染症の歴史や、医学や保健の分野で世界的な活躍をする日本人が取り上げられている。

1 単位時間ごとの「学習の進め方」が示されている。単元ごとに学習の流れや学習の目標が示されている。「つなぐ」のアイコンが使われ、各教科との関連が紹介されている。「かがくの目」のアイコンが使われ、科学的な資料が掲載されている。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

1 2

教科 外国語

種目 英 語

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ 数
番号	略称				
2	東書	NEW HORIZON Elementary English Course 5	5	A4	106
		NEW HORIZON Elementary English Course My Picture Dictionary	5・6	A4	50
		NEW HORIZON Elementary English Course 6	6	A4	106
9	開隆堂	Junior Sunshine 5	5	A4	138
		Junior Sunshine 5 Word Book		A4	34
		Junior Sunshine 6	6	A4	138
		Junior Sunshine 6 Word Book		A4	34
15	三省堂	CROWN Jr. 5	5	A4	122
		CROWN Jr. My Dictionary	5・6	AB	50
		CROWN Jr. 6	6	A4	122
17	教出	ONE WORLD Smiles 5	5	AB	140
		ONE WORLD Smiles 6	6	AB	140
38	光村	Here We Go! 5	5	AB	153
		Here We Go! 6	6	AB	145
61	啓林館	Blue Sky elementary 5	5	A4	152
		Blue Sky elementary 6	6	A4	152

種目名 (英語)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 NEW HORIZON
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 英語の実践的運用能力を身に付けさせることができる他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 「Starting Out」では、単元で扱う表現に出会う活動が設定されている。重要表現の定着を図るため「Your Turn」において聞くことや話すことの活動が繰り返し設定されており、第6学年では、読むこと、書くことの活動も取り入れられている。</p> <p>② 「Enjoy Communication」では、対話から始まり、続いてやり取りや発表をする活動が設定されている。「Check Your Steps」では既習内容を振り返り、思考ツールを用いて内容を整理した後、グループや個人で発表する活動が設定されている。</p> <p>③ 別冊「My Picture Dictionary」には、自分が調べた単語を書き込むことができる「マイ単語」が設けられている。「Small Talk」では、各課の目標に関連したテーマが示されている。</p> <p>④ 各課の最初に、関連する教科名が示され、地図記号や家庭での仕事等、他教科で扱う題材が複数取り上げられている。第6学年では、動物や自然を保護する大切さに関する題材が取り上げられている。</p> <p>⑤ 第5学年の「日本でつながるわたしたち」、第6学年の「世界とつながるわたしたち」で、世界とつながる仕事等が紹介されている。「Over the Horizon」では、海外や日本の各地方の映像等から言葉の背景にある文化を知る活動が設定されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>本課数は8であり、各課は「Starting Out」「Your Turn」「Enjoy Communication」「Over the Horizon」の4セクションで構成され、終末に文字と音声に親しむ「Sounds and Letters」が設けられている。2～3課ごとに、確認として、「Check Your Steps」が配列されている。二次元コードが「Our Goal」「Let's Chant」等に配置され、コードを読み込むと、課のまとめごとにリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。書き込みの非表示が簡単にできるようになっている。</p>

種目名 (英語)

項目	観 点 の 具 体	9 開隆堂 Junior Sunshine
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 英語の実践的運用能力を身に付けさせることができる他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 短い時間でできる活動が繰り返し設定され、単元を通して聞くこと、話すことの活動、中盤から読むこと、書くことの活動が配列されている。既習表現を定着できるように学習目標に沿った「Small Talk」が2時間に1回程度設定されている。</p> <p>② 既習表現を活用して活動することができるように、各単元に「Activity」が設定されている。「Let's Check」の「Interview」では、目的を明確にして教師とのやり取りを行う活動が組み込まれている。</p> <p>③ 文字を体系的に学習することができるように、巻末に「Sounds and Letters」が設けられている。また、見通しを持って学習することができるように、「CAN-DO チェック」が設けられている。</p> <p>④ 各課に、学習内容に関連する教科やキャリア教育、SDGs等の今日的課題が示されている。発展的な学習ができるよう、「Our World」では、各国の言語や食事、世界遺産等が紹介されている。</p> <p>⑤ 日本や世界のことをより深く知ることができるように、「Around the World」では世界の国々のことについて、「Story Time」では日本のことについて、行事、祭り、施設等それぞれの単元の内容に合わせた伝統や文化が取り上げられている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>本課数は8であり、2～3課ごとに学習の内容を復習・活用する活動「Let's Check」が設定されている。各課は「Let's Listen」「Let's Play」「Let's Write」等、様々な活動を組み合わせて構成されている。別冊「Word Book」が付属されている。二次元コードがページ右肩に配置され、コードを読み込むと、課ごとにリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。また、キーワード検索機能があり、検索したページに移動できるようになっている。</p>

種目名 (英語)

15 三省堂 CROWN Jr.	17 教出 ONE WORLD Smiles
<p>① 学習の見通しを持つことができるよう「HOP」が設けられている。「STEP」では、「Panorama」を見ながら英語を聞くことから始まり、聞くこと、話すことを繰り返し取り上げた後に、読むこと、書くことの活動が設定されている。</p> <p>② 「JUMP」では、「HOP」「STEP」で学習したことを基に、目的や場面、状況等に応じて表現することができるように、伝えようとする内容を整理し、内容に応じて様々な形式で表現する活動が設定されている。</p> <p>③ Story Time「世界のおはなし」では、児童にとってなじみのある話を取り上げられている。歌を楽しみながら文字を読む活動ができるように「みんなで歌おう」が設けられている。</p> <p>④ 「Try」では、買い物や道案内等、実生活での活用を図る内容が取り上げられている。都道府県名動物や植物の成長、プログラミング等、他教科との関連がある内容が取り上げられている。</p> <p>⑤ 「Hello, World!」では、日本や世界についての理解を深め、その伝統行事や文化に興味を持つことができるように、日本の名所・名物や世界の小学校の様子、いろいろな仕事等について取り上げられている。</p>	<p>① 各単元のはじめに、映像を見て内容を捉える「Let's Watch」や発声を促す「Let's Sing」等が配置されている。「Let's Listen」が複数設定され、続いて話すこと、読むこと、書くことの活動が順に組み込まれている。</p> <p>② 様々な表現方法に接することができるように、「Final Activity」では、ポスターや時間割、地図、パンフレット等、自分で作成したものを示しながら、やりとりや発表、ロールプレイを行う活動が設定されている。</p> <p>③ 巻末に歌の持つメッセージを鑑賞する「Let's Enjoy the Music」が設けられている。第6学年の「知らない英語に出会ったら」では、辞書の使い方を学ぶ発展的な活動が設定されている。</p> <p>④ 児童に身近なアニメ等の文化、国語で学習した物語等の題材が幅広く扱われている。行きたい場所や食べたい名物等を調査、発表する活動として「名所・名物マップ」が設定されている。</p> <p>⑤ 「Let's Look at the World」では、手話や絶滅危惧種等、SDGsに関連する内容が取り上げられている。世界の子どもたちの生活について知ることができるように、「World of Smiles」が設けられている。</p>
<p>本課数は7であり、「HOP、STEP、JUMP」を大単元とし、「HOP」、「STEP」内に2～3課、「JUMP」の順に配列されている。下段に「Sound Chant」や「Word Chant」等が配置されており、別冊「My Dictionary」の関連するページが示されている。二次元コードがページ右肩に配置され、コードを読み込むと、課ごとにリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。書き込みの非表示がすぐにできるようになっている。</p>	<p>本課数は8～9で、各課は「Let's Watch」「Let's Say It Together」「Let's Listen」「Activity」等の後に、「Sounds and Letters」「Review」が配列されている。巻末には、活動で使用するワークシートが綴じ込まれている。二次元コードが「Let's Watch」「Let's Sing」「Let's Say It Together」「Activity」「Final Activity」に設置され、それぞれにリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。また、録音・再生機能がある。</p>

種目名 (英語)

項目	観 点 の 具 体	38 光村 Here We Go!
(1) 内 容 の 特 徴 ・ 表 現	<p>① 言語活動に対する理解を図り、コミュニケーションに必要な基礎的・基本的な知識及び技能を確実に定着させるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>② 知識及び技能を実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、自ら考え、判断し、表現する力を身に付けさせるために、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>③ 児童の学習意欲を喚起し、補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されるように、教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p> <p>④ 英語の実践的運用能力を身に付けさせることができる他教科等との関連や実生活の場面への活用、探究的な活動の内容がどのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統・文化について理解を深め、尊重する態度を育てるとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことができる教材や言語活動がどのように取り上げられているか。</p>	<p>① 児童が学習の見通しをもつことができるように、単元の目標と「Hop」「Step」「Jump!」それぞれのめあてが示されている。既習事項を生かしてまとめができるように、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの活動が繰り返し設定されている。</p> <p>② 「You can do it!」では、目的・場面・状況に応じて既習事項を活用して、詩やチャンツを作ったり、英語のトーク番組に挑戦したりするなど、自分なりに思いを伝えようとするパフォーマンス活動が設定されている。</p> <p>③ 学習したことを生かして、発展的な読む活動ができるよう「英語の物語」が設けられている。児童が主体的に学習を進めることができるよう、巻頭に「できるようになること」が掲載されている。</p> <p>④ 日本語と英語を比較して考えたり、よりよい言葉の使い方を考えたりすることができるよう「言葉について考えよう」が設けられている。具体的なICTの使用場面が取り上げられている。</p> <p>⑤ 自国や他国の文化を尊重する態度を養うことができるように、世界で活躍する日本人を題材として取り上げたり、「世界の友達」では、世界12か国の子どもたちの生活の様子を継続的に取り上げたりしている。</p>
(2) 構 成 ・ 配 列 及 び 分 量 等	<p>内容が系統的に構成され、学習を効果的に進めるために適切な配列であり、全体の分量及びその配分や表記が指導上適切であることや、表紙、目次、巻頭・巻末の資料、挿絵、写真、レイアウトその他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>本課数は8で、各課はそれぞれ「Hop!、 Step1、 Step2、 Jump!」で構成されており、それぞれ見開き2ページで構成されている。2～3課ごとに学習のまとめとして、「You can do it!」が配列され、巻末には別冊「Picture Dictionary」が付属されている。二次元コードが見開き2ページの右肩全てに配置され、コードを読み込むと、そのページの活動にリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。また、書き込みシートが複数あり、重ねて表示できるようになっている。</p>

種目名 (英語)

61 啓林館 Blue Sky elementary

- ① 絵や動画を見て音声を聞き、場面や状況の中で言語材料の意味を推測する「Introduction」や「Watch the scene」、聞くことを繰り返す「Words and Phrases」、重要表現の定着を図る「Activity」等が設定されている。
- ② 「REVIEW」の「Try」では、コミュニケーションのポイントが示されており、条件を踏まえて、自分が考えたオリジナルロボットを説明したり、おすすめを紹介したりするなど、具体的な場面や状況が与えられた言語活動が設定されている。
- ③ 文字と音の関係を継続的に学習することができるように、「Let's Read and Write」が設定されている。自主的な学習が進められるように、各活動に二次元コードが割り振られている。
- ④ 「Challenge」では、動物園の掲示板、店のポスター、デパートのフロア図等、実生活での活用を図る学習内容や、円グラフや表等、算数との関連を図る学習内容が取り上げられている。
- ⑤ 自国や他国の文化を学ぶことができるように、「Did you know?」では、英語と和製英語の比較や海外で人気の日本アニメ等、多様な題材が取り上げられている。「Did you know? プラス」では、SDGsの取り組みが紹介されている。

本課数は8であり、各課は「とびら」「Step1、2」「Step3」「Look Back」の4部で構成されている。各課の冒頭には「Introduction」、終末には「Let's Read and Write」が配列され、2～3課ごとに学習のまとめとして「REVIEW」が設定されている。二次元コードが「Introduction」「Listen and Do」「Did you know?」等それぞれの活動に配置され、それぞれにリンクが設定されている。デジタル教科書には、読み上げ、書き込み、拡大、キャプチャ等の機能が付いている。また、幅の違う4線紙等、複数のノート機能がある。

「令和6年度使用義務教育諸学校（小学校）の教科用図書（文部科学大臣の検定を経た教科用図書）研究資料」

13

教科 特別の教科 道徳

種目 道徳

〈文部科学大臣の検定を経た教科用図書一覧〉

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
2	東書	新編 あたらしい どうとく 1	1	AB	146
		新編 新しい どうとく 2	2	AB	162
		新編 新しいどうとく 3	3	AB	178
		新編 新しいどうとく 4	4	AB	180
		新編 新しい道徳 5	5	AB	188
		新編 新しい道徳 6	6	AB	196
17	教出	しょうがくどうとく1 はばたこうあすへ	1	AB	161
		小学どうとく2 はばたこう明日へ	2	AB	161
		小学どうとく3 はばたこう明日へ	3	AB	169
		小学道徳4 はばたこう明日へ	4	AB	169
		小学道徳5 はばたこう明日へ	5	AB	185
		小学道徳6 はばたこう明日へ	6	AB	185
38	光村	どうとく 1 きみが いちばん ひかるとき	1	B5型	135
		どうとく 2 きみが いちばん ひかるとき	2	B5型	167
		どうとく 3 きみが いちばん ひかるとき	3	B5型	185
		道徳 4 きみが いちばん ひかるとき	4	B5型	193
		道徳 5 きみが いちばん ひかるとき	5	B5型	197
		道徳 6 きみが いちばん ひかるとき	6	B5型	215
116	日文	しょうがく どうとく いきる ちから 1	1	AB	154
		しょうがく どうとく いきる ちから 1 どうとくノート		AB	46
		小学 どうとく 生きる力 2	2	AB	170
		小学 どうとく 生きる力 2 どうとくノート		AB	46
		小学どうとく 生きる力 3	3	AB	186
		小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート		AB	46
		小学道徳 生きる力 4	4	AB	190
		小学道徳 生きる力 4 道徳ノート		AB	46
		小学道徳 生きる力 5	5	AB	186
		小学道徳 生きる力 5 道徳ノート		AB	46
		小学道徳 生きる力 6	6	AB	194
		小学道徳 生きる力 6 道徳ノート		AB	46

発行者		書名	使用 学年	判型	ページ数
番号	略称				
208	光文	しょうがく どうとく ゆたかな こころ 1ねん	1	AB	162
		小学 どうとく ゆたかな こころ 2年	2	AB	178
		小学 どうとく ゆたかな心 3年	3	AB	186
		小学道徳 ゆたかな心 4年	4	AB	190
		小学道徳 ゆたかな心 5年	5	AB	194
		小学道徳 ゆたかな心 6年	6	AB	194
224	学研	新版 みんなのどうとく1	1	AB	142
		新版 みんなのどうとく2	2	AB	150
		新版 みんなのどうとく3	3	AB	158
		新版 みんなの道徳4	4	AB	166
		新版 みんなの道徳5	5	AB	162
		新版 みんなの道徳6	6	AB	170

種目名 (道徳)

項目	観 点 の 具 体	2 東書 新編 新しい道徳
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫が、どのようになされているか。</p> <p>② 自分の経験や感じ方等、自己を見つめながら、多面的・多角的に考えることができる教材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、児童が道徳の授業以外で活用したり、家庭で自主的に学習したりできるよう教材や学習活動が、どのように取り上げられているか。</p> <p>④ 情報モラル等の現代的な課題に関わる教材のほか、「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の学習方法といった、多様な学習内容・方法が、どのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる内容や、グローバル化が進展する国際社会に関わる内容が、どのように取り上げられているか。</p>	<p>① 当該学年で扱う内容項目が、各学年に合わせた表現で整理されている。教材名のそばに、その日扱われる道徳的価値に係る短い言葉が、発達段階に合わせた表現で付されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、実在の人物を通して考える教材が第5・6学年で1題ずつ示されている。</p> <p>② 教材末に、自分の経験や感じ方を振り返る問い等が示されている。「どんな学びをするのかな」では、自分とは違う考えに出会う中で、自分の考えをふくらませる学び方等が紹介されている。第3学年以上には、自己の考えを見つめるためのツールとして取り外しできる心情円が準備されている。</p> <p>③ 巻末に、学期の終わり等に活用する学習の記録ページが設けられている。「つながる・広がる」のコーナーでは、他教科や普段の生活の中での関連が示されている。学びを広げるツールとしてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 全学年で、発達段階に合わせた情報モラルに関する教材が示されている。第6学年には、コロナ禍での情報モラルが事例として示されている。「問題を見つけて考えよう」では、問題に気付くステップや考えるステップ等、問題解決に向けた活動が示されている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、地域おこしや伝統的な物を通して考える教材等、合計10題示されている。国際理解・国際親善に関わって、国による文化の違いや国際親善に貢献した人物から考える教材等、合計8題示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>全35(第1学年は34)教材示されている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。5つのユニット(安心・安全、いじめ、情報モラル、いのち、じぶん)に重点がおかれている。</p>

種目名 (道徳)

17 教出 小学道徳	38 光村 道徳
<p>① 各教材に含まれる道徳的価値に係る短い言葉が、内容項目に関する4つの視点で整理されている。また、各ページの教材名のそばにも付されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、第5学年で1題、第6学年で2題示されており、全て実在の人物を通して考える教材が取り上げられている。</p> <p>② 教材名のそばに、これまでの自分の考えをゆさぶるような問いが設けられている。教材末に、これまでの経験を振り返ったり、今後の生活に目を向けたりする問い等が示されている。「道徳ではこんな学び方をするよ」では、話し合いを通じ自分の考えを見直す方法等が紹介されている。</p> <p>③ 巻末に、生活の中で生かすことができる資料が発達段階に応じて示されている。また、教材ごとや1年間を通しての学習の振り返りを記録するページが設けられている。学びを広げるツールとしてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 「情報と向き合う」というユニットを構成し、全学年で情報モラルに関する教材が示されている。第5学年では、いじめに関わる教材として、「SNSいじめ」が扱われている。「たいけん」や「解決」のマークが付された教材では、体験や問題解決を通して学ぶ活動が示されている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、伝統行事、各地の特産物を通して考える教材等、合計13題示されている。国際理解・国際親善に関わって、国による作法の違いや実在の人物の活動を通して考える教材等、合計9題示されている。</p>	<p>① 内容項目が、当該学年に合わせた表現で整理されている。教材名のそばに、道徳的価値に係る短い言葉が、発達段階に合わせた表現で記されている(第1学年以外)。「よりよく生きる喜び」に関わって、実在の人物や出来事から考える教材が、第5学年で1題、第6学年で2題示されている。</p> <p>② 教材名のそばに、これまでの自分の経験や普段の生活の様子を尋ねる問い等が示されている。教材末に、これまでの経験や考え方を振り返る問い等が示されている。「みんなで気持ちよく話し合うためのこつ」では、友達と自分の考えを比べる学び方等が紹介されている。</p> <p>③ 巻末に、学びを広げるための付録が示されている。巻末にシールや記述で学びを記録するカードが用意されている。家の人と話し合っしてほしい教材にはマークが示されている。学びを助ける資料としてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 「情報と向き合う」というユニットを構成し、各学年に合わせた情報モラルに関する教材及びコラムが示されている。「演じて考えよう」では、友達が演じるのを見ながら考える活動が示されている。「心を通わそう」では、言葉を掛け合う体験活動が示されている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、伝統的な遊びや伝統工芸品を通して考える教材等、合計6題示されている。国際理解・国際親善に関わって、外国との交流にまつわる出来事を取り上げ国際親善の大切さについて考える教材等、合計6題示されている。</p>
<p>全35(第1学年は34)教材示されている。各学年で、特に重点をおいているテーマ(いじめ、情報、自然等)が示されている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。</p>	<p>全35(第1学年は34)教材示されている。4つのユニット(いじめを許さない心、自然とともに、情報と向き合う、共に生きる)に重点をおいている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。</p>

種目名 (道徳)

項目	観 点 の 具 体	116 日文 小学道徳 生きる力
(1) 内容の特徴・表現	<p>① 道徳的価値の理解を図るために、発達段階を踏まえた内容の充実や創意工夫が、どのようになされているか。</p> <p>② 自分の経験や感じ方等、自己を見つめながら、多面的・多角的に考えることができる教材が、どのように取り上げられているか。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度を養うとともに、児童が道徳の授業以外で活用したり、家庭で自主的に学習したりできるよう教材や学習活動が、どのように取り上げられているか。</p> <p>④ 情報モラル等の現代的な課題に関わる教材のほか、「問題解決的な学習」「道徳的行為に関する体験的な学習」等の学習方法といった、多様な学習内容・方法が、どのように取り上げられているか。</p> <p>⑤ 我が国や郷土の伝統、文化、人物等に関わる内容や、グローバル化が進展する国際社会に関わる内容が、どのように取り上げられているか。</p>	<p>① 当該学年で扱う内容項目が、発達段階に応じたイラストと表現で整理されている。また、各ページの教材名のそばにも、内容項目にかかる言葉が付されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、漫画の主人公や読み物等を通して考える教材が、第5学年で2題、第6学年で2題示されている。</p> <p>② 教材名のそばに、自分の考えや経験を振り返る問いが示されている。教材末に、学んだことを活かして自分の考えを深めるための問い等が示されている。「道徳の学び方」では、話し合いを通じて、自分の見方を広げたり、深めたりすることが紹介されている。</p> <p>③ 学びの様子を継続的に記述する別冊の「道徳ノート」が準備されている。「心のベンチ」として、他教科とつなげて考えを広げる特設ページが設けられている。学習の参考となる資料としてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 発達段階に合わせて、全学年で情報モラルに関する教材が示されている。「ぐっと深める」では、役を演じたり、友達が演じている様子を見たりすることで、考えを深める活動等が示されている。第3学年以上では、「SDG sで考えよう」としてSDG sが紹介されている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、日本の各地域に伝わる物や偉人を通して学ぶ教材等、合計12題示されている。国際理解・国際親善に関わって、海外で活躍する日本人や、外国の友達との交流を通して考える教材等、合計10題示されている。</p>
(2) 構成・配列及び分量等	<p>内容の構成・配列、全体の分量及び配分や表記、その他使用上の便宜について、どのような特徴があるか。</p>	<p>全35(第1学年は34)教材と付録の資料、付属の「道徳ノート」で構成されている。いじめ防止のための「人との関わり」ユニットが、年3回設定されている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。</p>

種目名 (道徳)

208 光文 小学道徳 ゆたかな心	224 学研 新版 みんなの道徳
<p>① 当該学年で扱う内容項目が、各学年に合わせた表現で整理されている。教材名のそばに、道徳的価値について考えるきっかけとなるコメントが記述されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、実在の人物や読み物等を通して考える教材が、第5学年で3題、第6学年で2題示されている。</p> <p>② 教材末に、自分の考えを再確認したり、さらに考えを深めたりするための活動が紹介されている。「道徳の時間は、こんな時間です」では、友達の見解から自分の考えを広げたり、深めたりすることが紹介されている。主たる内容項目のほか、関連のある内容項目も示されている。</p> <p>③ 巻末の「学びの足あと」では、授業の振り返りとこれからの行動についての考えを積み上げるシートが示されている。レジリエンスに関わる内容が、全学年で取り上げられている。学びを広げるツールとしてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 発達段階に合わせて、全学年で情報モラルに関する教材が示されている。「みんなでやってみよう」では、友達と良い関係を築くための体験活動が示されている。全学年で、「みんなでつくる『わたしたちの未来』」としてSDGsに関する特設ページが設けられている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、災害からの復興や文化遺産や世界遺産を通して考える教材等、合計11題示されている。国際理解・国際親善に関わって、文化の違いや歴史的出来事を通して考える教材等、合計10題示されている。</p>	<p>① 当該学年で扱う内容項目が、各学年に合わせた表現で整理されている。教材名のそばに、道徳的価値について考えるきっかけとなる言葉が付されている。「よりよく生きる喜び」に関わって、実在の出来事や読み物等を通して考える教材が、第5学年で2題、第6学年で1題示されている。</p> <p>② 教材末に、自分の考えの変化や深まりを確認する問い等が示されている。「道徳の学習が始まるよ」では、自己を見つめることやいろいろな見方、感じ方、考え方に触れること等、道徳の学びを深めるための方法が紹介されている。</p> <p>③ 巻末に、各学年での学習の振り返りやこれからの自分へのメッセージを記述するページが設けられている。「心のパスポート」では、教材と関連した情報が示されている。学びを深めるツールとしてデジタルコンテンツの活用が紹介されている。</p> <p>④ 発達段階に合わせて、全学年で情報モラルに関する教材が示されている。現代的課題に関わって、教材が11のテーマに整理され、各学年に応じて示されている。「深めよう」では、「つかもう」、「探そう」等の学びを深めるためのステップが、学年に応じて示されている。</p> <p>⑤ 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度に関わって、自分が住む町の魅力や、祭りを通して考える教材等、合計10題示されている。国際理解・国際親善に関わって、世界で活躍した偉人や外国の伝統工芸品にまつわる話を通して考える教材等、合計10題示されている。</p>
<p>全40教材示されている。目次には、各学年で特に考えたいこと（命を輝かせる、いじめを生まない心、世界中のいろいろな人とつながるために等）が示されている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。</p>	<p>全35（1年は34）教材示されている。4つの内容項目がマークと色で分けられ、教材のページに反映されている。現代的課題に関わって整理された11のテーマにマークが決められており、目次や教材に付されている。</p>